

# 幼児の教育

第五十一卷 第八号

日本幼稚園協會



8

紀

# フレーベル館の新学期用品

No. 41 幼児指導要録  
B 5判、4頁、文部省御制定の制式のも  
のです。 定価一部 5円

No. 42 幼児指導要録の趣旨と  
その取扱いについて  
本社作成幼児指導要録30部お買上につい  
て1部添付するものですが、本パンフレ  
ットだけの御用命にも応じます。

定価 4円

No. 43 指導要録表紙  
定価 50円

No. 45 保育日誌  
大変御好評をいただきました保育日誌、  
諸先生方の御要望に応えルーズ・リーフ  
式にして御便利をはかりました。用紙イ  
ンク止め完全、厚上質表紙を添えて50枚  
に付

定価 200円

No. 47 園籍簿  
定価1枚 2円50銭

No. 48 身体検査票  
B 5判、文部省令第7号学校身体検査規  
程による制式のもの 定価1枚2円50銭

No. 49 父母への報告書  
B 5判 定価1枚 2円50銭

No. 50 園のたより  
A 6判24頁 定価 15円

No. 51 同カバー 定価15円

No. 53 卒園臺帳  
B 5判 定価1枚 2円50銭

No. 55 保育料袋  
定価1枚 2円50銭

No. 56 保育證書(A)

No. 57 保育證書(B)

AはB 4判、BはB 5判  
定価A 10円 B 7円

No. 58 園児募集ポスター(A)

No. 59 同(B)

A B 2種あります。大きさは約1尺5寸  
×2尺幼稚園、保育所共用  
定価 A B 各 15円

No. 72 出席簿(縦型)  
定価 1枚 2円50銭

No. 101 出席カード  
A 5判13枚(表紙共) 定価 30円

No. 102 出席カード用カバー  
定価 15円

No. 103 出席カード用貼紙  
10人分12ヶ月一箱 定価 200円

No. 111 むりえ(初級)

No. 112 同(上級)  
B 5判各16枚 定価各 35円

No. 116 えとむりえ(No. 1)

No. 117 同(No. 2)  
B 5判各16枚 定価 各 35円

No. 118 おさいく帳  
B 5判 12枚 定価 30円

No. 126 自由画帖(A)

No. 127 同(B)  
定価 A 35円 B 28円

No. 131 折紙(特製5寸) 定価55円

No. 132 同(〃4寸) 定価40円

No. 133 同(並製5寸) 定価40円

No. 134 同(〃4寸) 定価30円

以上いずれも1色100枚包の値段です。  
色の種類は12色。(並製は11色)

No. 156 まんてんくれよん(10色)  
定価 50円

No. 157 同(8色) 定価40円

No. 158 お道具箱 定価60円

No. 160 鉢(先丸鉢) 定価35円

No. 168 たのしいおしごと  
お茶の水の及川先生の新しい企画にな  
る工作の本です。 B 5判16頁定価45円

No. 171 組別名札(縦型)  
両面色紙ばり、色の種類は赤、黄、緑、  
白、桃、禪、水色の7色 定価1個2円

No. 74 園のたより用ゴム印  
定価1組 12ヶ 200円

No. 65 在籍記録  
B 4判 定価 2円 50銭

発行所 東京都千代田区神田 株式会社 フレーベル館 振替口座東京 一六四〇番  
神保町二丁目四番地

# 幼 児 の 教 育

第五十一卷

第 八 號

昭和二十七年八月

## 目 次

表 紙	中 川 紀 元
先生の読書期	倉 橋 惣 三…(2)
私の幼児教育研究の宿題	三 木 安 正…(5)
疲労の生理と病理	重 田 定 正…(9)
幼児の宗教性をさぐる	上 沢 謙 二…(14)
幼児の絵画製作の種類(1)	副 島 ハ マ…(23)
<b>自 家 中 毒 症</b>	齋 藤 文 雄…(40)
蟻と蜂の生活から	深 谷 昌 次…(27)
アメリカ童話から(18)	松 原 至 大…(32)
<b>講 話 幼 児 の 心 理 (IV)</b>	波 多 野 完 治…(42)
お茶の水女子大学主催幼稚園教員免許法認定講習会	……………(46)
日本幼稚園協会主催講習会	……………(47)
(官庁公示連絡事項)	
モデル幼稚園候補校の指定、 幼稚園基準について	……………(48)
会 場	……………(52)

編 纂 主 幹

倉 橋 惣 三

協 力 委 員

牛 島 義 友

及 川 ふ み

齋 藤 文 雄

多 田 鉄 雄

波 多 野 完 治

山 下 俊 郎

編 集 委 員

西 山 浪 太 郎

(五十音順)

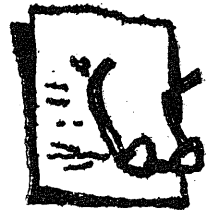
発 行

日 本 幼 稚 園 協 會

# 先生の読書期

— 夏休み雑言 —

倉 橋 惣 三



一ヶ月なり、二ヶ月なり、夏休みというものゝあるのは、子供や学生の以外には、先生だけのことである。役人でも会社員でも、一年を通じて、一定の休みがとれるだけで、それも、特別の事情がない限り、幾日と連続して休みのとれることとはない。家庭工業や商店の人々は、一年中休暇というものはない。それが、教師となると公然と、というよりも、権利のように、休みがとれるのである。それは、幼児、児童、生徒、学生に一定の休業日があるから、そのお附合いだとか賜（？）だとかいう人がある。その証拠、幼児の出席（？）に夏休みのない保育所では、夏だからといって先生の出勤に休みは与えられない。この、先生の夏休みというものを、誰れもケンカランという人はないし、怠惰だという人もないが、いゝねえと羨む人はあるかもしれない。保育所の先生にしても、幼稚園勤めの友達を羨むなんてことはない上に、この暑

いのお気の毒です。ねえなんていわれると、却つてメンクラワれるであらう。同時に、幼稚園の先生方もこの休みを特別有り難いと、どこへ感謝する訳でもない。更に「わたし毎日幼稚園へゆきたいのだけれど、子供達が来ていないから、仕方なく休むのよ」と不平をいゝ給う熱心家もあるかも知れない位、御自分でお休みになる訳ではない。そうして、その間、ガラシとした園舎と庭が、小使のおちいさんとおばあさんと留守せられ、とき／＼若い先生が、ユカタがけで出園——出勤ではない——せられて、窓もあけずにお帰りになるだけである。（コレは失言罪）。

ところで、それはそれとして、その間、先生も決して、連続性退屈なんかしていられる次第ではない。平生幼児のためにお忙しくて、あれもこれも、この長休みにと貯えて置かれた御用の数々、御用のくさ／＼も多い。そのうえ、大切なレ

クリエーションとして、山なり海なりに、一年中の英気を養い貯えられることも必要だろう。殊に、「少しは早く帰られないうものかねえ」と、いつも言つて下さる御老親への孝行、御主人へのサーピスに、いゝ娘、いゝ妻としての家内公務も多しことだろう。一ヶ月や二ヶ月、ちぎたつて仕舞うのである。なかには、おキラクなお身分に任せて、朝、昼、夜と、一年中の睡眠量の貯蔵につとめていられる人もあろう。科学的に言つて、睡眠は貯蔵できるものかどうか知らないが、その人としては、始業後の精動を予め夢みる職務の為の忠実家たるに相違ない。

貯蔵といへば、喰いためということも考えられる。殊に、親がゝりの若い先生達は、「お弁当だつて、子供といつしよでしよう。ロクロク身にならないのよ」という毎日の勤勞報告に同情して、うち中で、「さあきようからお休みだ、ゆつくりいくらでもおあがりよ」と御馳走して下さる好意に対して、満腔満腹タペタイと（英語ではアペタイトという）を以てこれに報いられる。しかし、現代衛生科学によれば、栄養の喰いだめは、眠りだめよりも、ダメなことが、遺憾ながら明かである。少くとも、眠りだめ、喰いだめ共に、三十余日はいらないことのようにである。

ところで、こゝに一つ明かに貯蔵のきくものがあり、折角の長休みを、是非その方に活用したいことがある。それは読書による精神的生命糧の貯蔵である。殊に、ゆつくり嚙み

しめ、飲みこみ、反芻もしたい（牛の真似じゃありません）と常に思つている大きい古典、深い訓え、堅い知識の本を、しつかりと味わい読むことである。これには長い時間もいり、殊に、気分の熟読判読、反読の落ちついた時間がある。

日々に幼児のために捧げている時間では無理であるうし、ふだんには、ふだんの仕事に入要な業務用読書もある。それとは別にこういう精神の貯蔵になる読書には、どうしても自分の時間があるのである。世間一般の人には長い長休みが先生にあるのは、このためだと気がついたとき、先生の夏休み論に、誰も異議のない解決がつく。生徒の生理的健康には日々一錠二錠のビタミン剤の定服用も、極めて有効だが、人間性の基本的健康のためには、ABCの単一補給以外に、もつと真にいのちのもとななるみつちりした読書の必要がある。そんなら、どういふ読書がいゝ読書かということになりますが、一言にいつて、わが心のための書であつて、そういう良書は世にいくらでもある。多過ぎるに苦しむ位だ。いざ孤島に旅立つに當つて、特に一種を選ぶとすると、選び迷うているうちに、夏の休みが、選びくたびれているうちに終つて仕舞うかも知れない。そこで、一応この夏休みの活用として、いく条かの常識を言つてみる。

(一)、ふだんは読めない大部のもの

(二)、専門的よりも心を養う根本的なもの

(三)、新刊よりは古く広く読まれてゐるもの

内容の種類としては、その人の読みたいもの、という他はあ

るまい。たゞ銷夏娯樂のよみものとは別の本気の読書だから、単にうすつべらなたのしみ、ひまつぶしに流れてはならない。

(イ)の大部のものというのは、必ず頁数の多い本が良書という訳はないが、大部のものは、ふだん忙しい合間には手がつけにくいからである。それも、大蔵經とかいうことになること読み初めるにも格別の覚悟がいるが、旅行用の袖珍小本類は何も計画するまでもない。その他に、小説にしても、たとえばトルストイ全集とか、チボー一家の人々とか、一月がよりでないと耽読できないものが幾つもある。兎に角、雑種よりは、それだけで、ことしの夏の収穫と記念になるものがよかる。

(ロ)の専門的よりも根本的なものというのは、これも、専門的の保育法とか幼児心理学とかいうのは、当然ぶだんも読むものだから、夏休みには、敢てもつと大きく目をつけて、自分として、人間として、心の永久の養いとなるようなものに取つ組んだらどうだろうという意味である。そういうものを、謂わば「万人の書」「千古の書」といつたものを、多くの人が、案外少しも読んで居ない。東洋でいえば四書とか、西洋でいえばバイブルとか、儒教がどうの基督教がどうのということとは別に、人類の心を養つて来た貴重なものである。

(ハ)の意味は、必ずしも新刊を避ける訳ではない。教育者は、常に新感覚の持ち主でなければならぬ点から、新人の新著も素より大切なのであるが、新刊ものには、古く広く定評の

あるものに比して、読後の結果が、感性に多彩と香味とを添えてくれても、心の根本を深くは養つてくれないこと未熟のくだもののようなが屢々ある。

「この頃の保育界の先生方は、音楽を好み、映画に通じ、多くがモダンな文化人だが、案外読書人は少ないね」と、筆者の耳にさゝやいた読書人が居た。私はそれには答えなかつたが、来らんとする長い夏休みのために、この一文を書いた。

# 私の幼児教育研究の宿題

(1)

三 木 安 正

まえがき

私の幼児教育研究は、みんな尻切れトンボになつていたので、幼児教育の研究に関して記せといわれると、私のかゝっている宿題の虫ほしをするような恰好にならざるを得なく。

倉橋先生は、それでもよいといわれるので、久しぶりで虫ほしをさせてもらうことにした。

私が実際に手がけてみたものは、

(1)、精神薄弱児の幼稚園、(2)、農村の保育所、(3)、都会の幼稚園という

順であるが、その手がけ方は、(1)、(2)、(3)の順に手うすになつてゐる。どれが一番魅力が大きいかといへば、やつぱり、(1)が引力が強いようであるが、いづれも捨てがたいものがある。次に、順を追うて、私の宿題をならべてみよう。

## (1)、精神薄弱児の幼稚園

昭和十三年の十月に愛育研究所が設立され、私もその一員に加えていたのだが、私に与えられた研究室は第二研究室すなわち異常児研究室であつ

た。

研究をするためには、その対象がなければならぬ、しかも愛育研究所の研究対象は一応、年令的に就学前の子供ということになつてゐるので、就学前の異常児のうち、精神薄弱児を対象とした幼稚園のようなものをやつてみることにした。はじめは一週間に二回、後に一週三回とし、はじめは私と伊藤良子女史(記録担当)、後に保育担当として小溝キツ氏が加わつた。園児は同研究所の教養相談室に相談にきたものうちの該当者、ついで、地元の区役所で就学猶予、免除者をしらべてきて、かん誘をした。園児数は五名乃至八名といつたところであつた。この幼稚園が尻切れトンボになつたのは、戦争が激化して、子供をつれての東京の生活に危険を感じるようになった(昭和十九年はじめ)からで、私も別の理由で愛育研究所を去つたのであるが、終戦後、昭和二十四年に、今アメリカに留学している津守真君、牛島

義友教養部長、齋藤文雄所長らの御尽力によつて復活し、一昨年には小さいながらも独立園舎が出来、小溝氏も再びもどつてきて、次第に盛んになりつゝあるのは、まことに有難いことである。

この種の幼稚園には、ナチス時代のドイツに、シュールキンダーガルテン（学校幼稚園）と称して、就学の時期には達したが、学校教育をうけるためには、まだ能力が不足しているという子供を一年乃至二年入園させるものがあるということ、後に文献によつて知つたが、先般アメリカから帰つた人の話によると、イリノイ大学のカーク博士が現在、実験的にこの試みをやつており、すでにある種の効果は見られているが、その結論は数年後に発表するといつておられた由で、これは相当立派にしつらえられた教育実験であるらしいので、その結果が待たれるのである。

さて、私どもは、幼稚園で十分に手

をつくした精神薄弱児群と、ただ家庭におかれていた精神薄弱児とを比較対照しながら研究するというような大がかりなことは出来なかつたので、専ら数名の精神薄弱幼児を保育しながら、その心理（特に言語と行動）をケース・スタディーといつた形で研究したのであつたが、（愛育研究所紀要第三輯「異常児保育の研究」昭和十八年）保育の問題としては、寸時もジツとしていない子供、筋のとおつたことの出来ない子供、頭の働きが浅くてバラバラの子供に少しでも意味のある仕事、またまりのある仕事をさせ、落着きを与え、経験の整理をするといつたことを目標とした試みを行つてみた。

普通の子供を扱つてみると、きわめて何でもなく過ぎてしまふようなことがら、精神薄弱児では一々障碍にぶつかつてストツプを喰うわけで、ここに彼等の指導のむずかしさと面白さがある。

たとえば、木製の玉をころがして同

じ木製のピンの形をしたものを倒す玩具をつかつて、子供たちの理解のひるさや興味をしらべてみた。はじめは、ただ、そのまゝピンを床上にならべて一メートルぐらいの距離から玉をころがしてみると、玉がピンに当つてそれを倒せばすべての子が、よろこぶ。

しかし、あらかじめどのピン（ピンにはそれぞれちがう色がぬつてある）を倒してやろうというようならぬらいつけている子となると一人、二人にすぎない。

次に、屋内用のスベリ台の上から玉をころがし、ころがつていつた玉が床上にならべてあるピンを倒すというしかけしてみると、もう大部分の子が、玉がスベリ台をころげおちて行くことだけに気をとられ、ころがつていつた玉がピンを倒すかどうかということは、もうどうでもよくなつていゝかに見られる。

それから、スベリ台をころがりおちた玉の進んで行く道に積木でトンネル



を作るとか、さらにその道を積木で二またに分けるとか、いろ／＼途中を複雑にして行くと、ますます玉をころがすということとピンを倒すということとの間の関係が薄くなつて行く。

このくらいの複雑化なら、普通児の場合ではおそらく一層興味が増すはずであるが薄弱児では興味の中心が失われてしまうのである。つまり、一つずつの簡単な事柄の理解は出来ても、それらをつなぎ合せた場合には、必ずしもその全体の理解はできないこと、あるいは、精神薄弱児では、そうした場合には、すでに理解されている簡単なことがらさえ、理解できない状況に逆行もすのではないか。むしろかきいえば、ことがらの体制化とその再編成といつたことに普通児と大きな隔りが出てくるのではないか、といつたことが問題としてとりあげられよう。

そのようなことを結論するには、無論実験的研究の結果にまたなければならぬが、教育的には、そうした個々

バラバラの狭小な理解、把握を出来る丈広くものにするために、うまくつなぎ合せることの工夫をする必要が考えられる。

一般に学習指導をして行くためのカリキュラムというものは、いろ／＼なこまかい経験をつなぎ合せて広い理解に達せさせるための計画表であるわけであるが、普通児なら、さつさと子供の方で、そのつなぎ合せをやつてくれるのに、精神薄弱児ではまことにそのつなぎ合せがむずかしいのである。

彼等に粘土を与えておだんごをつくらせる。非常に程度の低い子供は、てのひらを、一定間隔で相互に平行的に廻して、粘土の球を作ること自体も容易ではないが、それはまあ仕上げられたとする。ところで、おだんごが出来れば、普通児では、それで何かして遊ぶであろうが、精神薄弱児では出来れば、それつきりでおしまひになつてしまふ。そこでこちらで、おだんごを二つ重ねて、雪だるまのようにして、

「さあ、これはお人形さんだよ」といつても、上下に重ねられた大小の球はお人形さんにはならないらしい。そこで、もう少しサゼツシヨンを与えたらと思つて、ボール紙細工で帽子を作つてやつて、頭にのせたら、ようやく、それがお人形さんとしての意味をもつようになり、遊びに使えるようになった。

またある時は、そのおだんごに曲げたはりがねをさし込んでおいてかわかし、それを糸でつないでブドウの房のようにして、子供に着色させた。それは本物のブドウとつなかりが出来たようである。それから、ブドウの葉の形に下絵をかけたヌリエをやらせて缺できりぬかせ、先生達が作つた竹のブドウ棚に段々とつけていつた。

子供たちはくるたびに一房のブドウをつくり、数枚の葉っぱを作りして、そうしたいくつかの仕事を合成して、ブドウ棚が次第ににぎやかになつて行つたが、そのあと、これをどう活用す

るかには仲々いい知慧が出ない。

ブドウ棚の下でお八つをたべてみて  
もたいして面白くない。このブドウ棚  
が子供の活動場を規定する舞台のよ  
うになればと考えて、指人形で蜂や狼  
などを作つてもらい、それらがブドウ  
をさしたり、ブドウにとびついたりと  
いうように遊ばせてみたが、結局のと  
ころは、大人の夢想した子供の世界に  
終つた観がある。しかしながらブドウ  
棚作りの仕事は、かれこれ二カ月以上  
は続いたのではなかつたかと思う。子  
供が幼稚園に来て、それをするのが一  
つのお仕事だというようになること  
は、よいことだと思つてゐる。

精神薄弱児の場合、普通人の住んで  
いる世の中では、どうしても彼等の要  
求はうけ入れられない。要求のずれが  
ある。従つて、どういふ仕事もぴつた  
りこないで、落着はなくなり、破壊  
工作が多くなる。

われわれは、日常おつとめに出るこ  
とが楽しいのは、つとめ先きで仕事を

待つていてくれているからである。い  
やなことがまつているときには家を出  
たくない。わけのわからないものが待  
つてゐる（これは待つてゐるとはいえ  
ないが）ところへはいつてもいかなく  
てもいいということになる。

普通児なら、ともかくお友達が待つ  
てゐるということが何よりもうれしい  
のだが、精神薄弱児はいわゆる社会性  
が発達してないといわれるように、  
お友達おそびがうまく出来ないから、  
その興味はずつとすくないだろう。む  
ろん、仲間と顔を合せることには何と  
なく期待をもつてやつてくる。だれか  
が休んでゐると、〇〇ちゃんどうした  
んだらうという。しかし、顔を合され  
ばそれでおしまいで、お互に遊ぶこと  
が出来ない。先生がうまく遊びの中に  
ひき入れてやる事が出来れば大成功  
であるが、その遊びはきわめて浅いも  
のにとどまるであらう。しかし、その  
指導に力をつくさなければ、言葉や数  
の観念も発達しない。言葉はむろんの

こと、数の観念の如きも、その基底に  
は人と人との交渉（例えば交換とか順  
番とか）があつてはじめて出てくるの  
である。

以上のような事実をつきつめて行く  
と、精神薄弱児の場合だけに過ぎら  
ず、普通児の場合でも、どんな社会が  
彼等を立派にはぐんで行く社会である  
か。またどんな経験がどんな工合にむ  
すびつき合つて、精神的な力が育てら  
れて行くかといういろいろな思いが、  
洋々とした大海原の前に立つたよう  
に、わきおこつてくる。これはまこと  
に大きい宿題である。

しかし、そうした人類の宿題とでも  
いうべきものをすゝめて行くために、  
わたくしどもは、実にこまかいと思わ  
れるような仕事をしてデータを蓄積  
して行かねばならないのである。



# 疲労の生理と病理

重田定正

## 疲労とは何か

幼稚園の先生や保育所の保母は疲れる。どんな職業でも疲れないものとは無いが、先生や保母の疲労は、幼児に接するという仕事の内容からも、先生たち自身の年齢や性の点などからも、研究に値する問題であろう。

幼児たちのために仿っていると、疲れを忘れていくようにも感じる日もあるが、疲労のために心もからだも思うようにはたらかないで憂鬱な思をする日もある。

いつたい疲労とは何であろうか。疲労物質とでもいうべきものが身体の中にできて、その物質の中毒が疲労となつて現われるのだと説明されているが、その疲労物質というものはどんなものか、その正体は未だにはつきりとなつかまれていないのである。

どんなときに疲れるだろうか、身体を動かすと疲れる。しかし身体は動かさなくても環境が悪くだけでも、たとえば部屋の空気が悪いと、じつとしていても疲れる。いわんや、よくない環境で身体を使うと疲労はいつそう強く

ならざるを得ない。

気をつかう、精神を労すると、この精神的緊張や刺戟は身体の動作とは関係なく疲れを感じることを経験するのは、わたしたちの心身が、よくない環境に対して命じられることなく、おのずから仿っている証拠である。疲労とは、くたびれた、へばつたという以外に仕事にあきるといふ形でも現われる。

スポーツをしたあとの疲れや入浴後の疲れなどは快いものであるが、一般には疲労すると、緊張したのが、たる

み精神は興奮し過ぎたり沈鬱になつたり、ともかく愉快ではなくなる。疲労が一段と進むと、がっかりして力が脱けてしまつたように感じる。ピクニヤのときなど始めのうちは歌つたりしゃべつたりして賑やかだつたのが、だんだん静かになつて終には黙りこくつて風景の美も無関心無頓着になつていくのは疲労が進行している現れである。眠くなるのも疲労の症状であつて、終にどうしても目をあけておられなくなる。また息が苦しい、胸がくるしい、頭痛がする、頭が重い、筋肉が痛む、食欲がなくなる、下痢をする、はきけ(悪心、おしんと医学書にある)があつたり吐いたりする。このような症状があつても、胃・腸・心臓・肺臓などに何病・何炎などと名のつくほどの病氣があるのでなく、疲労という原因が除かれさえすれば、自然にこれらの苦惱がなくなつてしまふ。もちろんその人の素質とか体質とかいわれるべきものとの関係があるので、周囲のもの

の観察が鋭くないと、本人だけが大量に騒ぎたてているように誤解され勝ちである場合もすくなくなる。

実際に心身が疲れている程度と疲れたという感じとは、必ずしも一致するとは限らない。同じ体力でも、その仕事に対する興味がちがうと疲労もちがつてくる。こども好きの人と子供の嫌いな人とは、こどものいる環境での疲労はすいぶん異なるので、先生や保母で「わたしは子供は好きな方ではありません。」という人にあうと、多分彼女は疲れ易いだろうと思つて御本人もお気の毒、こども達も気の毒と感じるのである。

### 疲労の示標

とにかく疲労すると作業能率が低下してくる、疲れると動作がはつきりちがう若い先生を見るのは珍らしくはない。朝のうちはきりつとしていた人が、姿勢が崩れて、だらりとしてくる。また生き生きとした表情が硬くな

り、笑つても何となく不自然な感じを与えるのは明らかに疲労の結果であるから、鏡にうつる顔や姿を見るのは決しておしやれだとのみ解釈しないようにしたいものである。

体重は疲労の示標の役目をするところがある。もし外に病氣がないのに体重がどんどん減つていくなら過勞が原因しているのだから、体重の増減に注意して減少がとまり増加の傾向が明らかになるまで勞働を制限し体力を増強するようにしなければならぬ。いわゆる健康疲労と病的疲労とは、はつきり区別する知性を備えたものである。

そして仕事に興味をもち疲労感を作るべく少くするとともに疲労の実体をつかむように努めるとよい。スポーツでも勝つたときの方が疲労感はずくないけれど、体力は負けた人とほとんど同じくらいに消耗しているわけであるから、その回復には同じだけの補給をしなければならぬ。筋肉勞働者が仕事の帰りに、しょうちゆうを一ぱい

ひつかけるのは疲労を忘れるためだが、それは感じただけであつて、疲労そのものは、完全な熟睡と適当な栄養とでなければ恢復するものではない。

## 汗と疲労

夏になると汗が出る。汗かきの人の汗は、汗が大量になる。汗は疲労と関係があるが、尿の性質が汗汗によつて左右されるから、ある程度まで尿の變化から疲労の程度を推定できるといふ風に考ふる学者もある。汗が出たとき水分の補充がうまくいかないと、体液の状態が變化し（滲透圧が高まり）尿へ水分が移るのが抑えられてしまうので、尿は濃くなり尿量は減る。ところが、水だけをどんどん飲めばどうなるかといへば、尿量は減らず濃度も増さないけれど、塩分の補給が行われなため身体は極度の食塩不足におちいり尿の中へ食塩が逃げ出さないようにするため尿の塩素濃度はいちじるしく減少してしまう。こんな状態が長く続く

と、熟睡をおこすに至る。

食塩は一日に一〇グラムから二〇グラムとればよいとされているが、汗のために失われた食塩は補つてやらなければならぬ。京都の一流の料理人が信長からまずいと罵られたので、塩から味の料理をつくつて彼を軽蔑したといふ。信長がからい味を好んだのは、あながち彼の趣味の低劣を示すものだと断言できないような気がする。彼とても京都で悠々自適の生活を送るようになれば、味に対する嗜好も必らずや變化したにちがいない。現在でも激しい労働をする人たちが、事務をとる人たちよりも塩からいものを好むのは自然である。わたし達も暑くなつたら、弁当には佃煮のようなからいものを副食に選ぶのが賢明である。

夏にはのどが乾いたら、真水を飲まないで、一パーセントよりも薄い塩水を飲む習慣をつけておくとよい。一パーセントの食塩水という塩からいという程度ではない。〇・三パーセント

になると真水かとまちがうくらいの味である。一パーセントとすれば一リツトル飲めば一〇グラムになる計算である。もし空腹のときには、飴湯や砂糖水にやはりこの程度の薄い塩味をつけて飲むならば、理論からは最も適當しているのである。なお、食塩が濃すぎると血液の濃度を高くしてしまふから、まず一パーセントを最高と心得ておけばよい。

## ビタミンと疲労

学問の進歩によつてビタミンの種類は、最近いちじるしく増加してきた。ニコチン酸・パントテン酸・パラアミノ安息香酸・葉酸のような名称のものもあるし、Bも1・2・6・12・14などと分けられるが、疲労と関係の深いのは、ビタミンB1・C・Aである。いつげんにビタミン剤は、ほかの薬とちがつて、実はビタミンそのものは薬ではないのであるが、分量が多過ぎても害はないと思つてよい。ビタミン

を薬剤の形で大量を連続して服用することは、わたし達にとつて経済的に堪えられないのが現実である。しばしばDの過量は害があるといわれるが、実際には有害なほどの大量はとられないと学者が述べているくらいである。

ビタミンB1は、日本国民の栄養において重点のかかり過ぎていて糖質の消費に関連してくるので、第十回オリンピック大会でわが水上選手がビタミンB1の注射を受けたことが、世界の体育界において問題となつたのは、ビタミンB1の疲労に及ぼす影響がどんなものであるか不明であつたのも一因であつたようである。

ビタミンの要求量は、先生や保母の年令では一人一日A 五、〇〇〇国際単位（I・U・あるいはi・u・と略す）インターナショナル・ユニット）B1 一・〇ミリグラム C 四〇ミリグラムとされている。労務者でも、それぞれ 六、〇〇〇国際単位 一・五ミリグラム 六〇ミリグラムとなつ

ているから、自分の必要とするビタミン量はかんたんに計算できる。

食品類別荷重平均成分表によれば  
Aの多いものは 緑黄色の野菜 二、八五〇 海藻類 二、四六〇 油脂類 四八〇

B1の多いものは 豆類 〇、五二一  
米以外の穀類 〇・四〇 獣肉類 〇・三六  
B2の多いものは 卵類 〇・三六  
だいづ 〇・二〇

Cの多いものは 緑黄色の野菜類 五  
五 柑橘類（トマトを含む）三〇 さつまいも 三〇

これらの数値はいずれも可食部分一〇〇グラム中に含まれるものである。なお荷重平均というのは、魚介類の中でも、脂質についていえばたら〇・四 たこ 〇・六 であるが うなぎ 二八・二 まぐろ 二六・四の如く相当の開きがあるのを、便宜上 六・二として計算するように任組まれてあるものである。

したがつて疲労を防ぎ除くには、これらの食品を多く食べるのが自然であり、食品によるだけでは不十分な場合にはじめて、いわゆるビタミン剤を内服により、さらに注射によつて補うのである。

B1には、オリザニン・メタボリン・エビオス・パラナストリン・アペリー・パラエス・アクタミン等があり、これらの中には強力と銘をうつたものもある。

B2には、フラボール・ワカフラビン・ピオフラビン・ビスラーゼ等が、Cには、ピタシミン・アスコルチン・エルピトン等が、Aには 肝油・肝油球 ビタドール等がある。

注射には皮内（ツベルクリン反応BCG予防接種等）皮下 筋肉内 静脈内等の方法があるが、實際上多く用いられているのは皮下注射である。しばしばビタミン注射くらいは消毒しなくてもよいなどという人があるが、こ

んな暴言は決して医師によつて吐かれたことはない。消毒しなくても何等異常を来たさなかつた実例があつたからといつて消毒は不用だという理屈は成り立たない。皮下注射をするときは、消毒した皮膚を強くつまみあげて筋肉層から離し、それから皮下脂肪組織へ注射するわけである。皮下注射のときは、注射した場所を軽くもんだ方がよいが、ツベルクリン反応の場合は決してもんでならぬ。この注意は嚴重に守られないと結果の判定に影響を及ぼす危険があるので、こども自身よりも母親たちに徹底させておかなければならぬ。

### 疲労と病氣

疲労の原因に不良な姿勢が挙げられるが、小さいこどもの相手になつてゐる先生ことに背の高い人たちは、姿勢が悪くなり勝ちである。先生は、こどもと別に体操、嚴格に言えば矯正体操をするとよい。こどもと一緒にとんだ

りはねたりしてゐるのだから運動になつてよいだろうと、のんきな見方をする人がいるが、不自然な姿勢で運動するのは、かえつて筋肉を無理に使うことだから疲労を増すことになる。筋肉の疲労をなおすには、体操のほかに入浴がよい。入浴の回数は多い方がよく、入浴しない日でもからだを拭く、足だけでも洗うようにしたい。

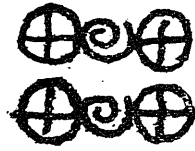
枕許に洗面器を置いておいて毎朝身体を拭く、冬になると冷水摩擦になるような習慣をもつてゐる先生があるが、これも一つの思ひつきといえよう。

結核症という病氣は、しばしば疲労のほか何らの自覚症状を示さないことがある。咳、痰、微熱、肩のこり等は全然ないので、本人は結核とは夢にも思わない。いろいろな検査でそれ以外の病氣が考えられないので、特に綿密にエックス線写真を撮つてもらつたら小さな空洞がやつと発見された。それでも本人は半信半疑である。ところが

正式に結核症の治療を始めたら、疲労はどんどん軽くなつて、はじめて結核症が原因であるやつと納得した友人がいる。これは医師たちの中で起つた出来事であるだけ、一般にはなおさら見逃される可能性が多いにちがいない。もし疲労がどうしてもとれないようだつたら、念のためにエックス線を検査してもらふことである。

脚氣の原因をビタミンBだけに限るのはどうかと思うが、疲労と脚氣といつしよになつていたり、脚氣一歩手前という身体の状態であるため疲労がちじるしいことは夏になると殊に多く見られる。こんなときにビタミンAは効果がある。足が重いとか、からだのだるいとかいうときは、普通のB剤を長期間にわたつて用ゐる。注射でない不安心というのは、日本人の笑ふべき特性といつてよいであらう。

寄生虫もいない方がよいにきまつてゐるから、幼児の検便のときなどいつしよにしてもらつて、(26頁へ)



## 幼児の宗教性をさぐる

上 沢 謙 二

### ◇ABCのお祈り

道ばたの草の中に、ひとりの小さな子供がひざまずいて頭をさげていた。

通りかかったおじさんが何をしているのかと思つて、そつとそばへ寄つてみた。子供は気がつかない、気がつかない筈だ——目をつぶっているのだから。

おじさんはへんに思つて、ここんで額を近づけると、小さな声の子供の口から出てきた。

「ABCDEF G……ABCDEF G……」

子供は同じ言葉をくりかえしているのである。

いよいよへんに思つたおじさんは、とうとう口を開いて聞いた。

「ちよつと——坊や、何しているの？」

目をあいた子供はびつくりしたようにおじさんを見上げたが、しずかにいつた。

「僕、お祈りしているんです」

こんどはおじさんがびつくりした。

「お祈り？ 今、坊やがいつていたのはお祈りじゃない、ABCじゃないの。」

子供はまじめな顔をして答えた。

「ええ、だつて、僕、何ていつてお祈りしていいかわからな

いんだもの」

### ◇幼児に宗教があるか

児童の殊に幼児の宗教々育が問題になる時、或る人はいう。

「宗教は見えざるものに対する関係であるから、尠くとも形



而上の觀念又は概念的思考がゆかない間は起らない。それは亦自我意識に根ざすものであるから、渺くとも自分という觀念がはつきりしないうちは始まらない。ところで、幼児期はその二つとも極めて漠然としているか朦朧としている。だから、宗教を教えることはできない。」

そういう人は、この「ABCのお祈り」の話を聞くと、こういうだろう。

「このお祈りには内容がない。ABCのくりかえしでは無意味だ。謂わば藻抜けの殻だ。これではお祈りにならない。なぜこういってお祈りでないお祈りが出てきたかといえ、そこには宗教的理解も宗教的自覚もないからだ。このお祈りは正に前説の裏づけとなるものだ。」

いかにも教育は「引出す」仕事である。まず引出されるものが相手になければならぬ。それが具わるのを待つて行われねばならぬ。今日の教育に於て「成熟」ということが重視されるのは、そのために外ならぬ。児童のうちに自覚の成熟、思考の成熟がない場合に、それを必要とする教育を課することは、徒らな重荷を負わせて、彼等を苦めるばかりでなく、成長の芽を抑圧してねじまげるようなことにもなる。単なる誤り以上に、烈しい言葉を使えば罪惡ともいわれるであらう。

そうとすれば、幼児期に於ける宗教教育もこの弄難を免れないことになるだろう。

### ◇宗教と宗教性

それならば、幼児と宗教は全く無関係なものであらうか。

成程、この子供のお祈りの内容だけ観れば、そこにあるものはABCばかりで、宗教の方ケラもないだろう。しかしお祈りという行動に出たということはどうしてだろう。この行動は自分の好きな遊びではない。又は命令されてする勤めでもない。その動機は興味からでもないし、義務からでもない。謂わば対人関係とは別な、日常生活とは離れたことである。そこには「神」と呼ぶにふさわしい觀念又は対象はないが、渺くとも親や友だちや、目に見えるものに話しかけるのとはちがつた心持乃至態度があらわれている。これはどうしても普通とちがつたものといわねばならぬ。そのちがいはどういふ言葉でいいあらわされるべきかといえ、**「宗教的」**という外はないだろう。とすれば、この出来事は「内容又は觀念に於ては宗教的といえないが行動又は態度に於ては宗教的といわねばならない」ということになる。

ここに於てか、幼児と宗教は全く無関係なところが、大に關係があるということになる。しかし又それは充分なものではなく不完全なものだということになる。

人間の一生は成長の過程であり、発達史である。成長発達とは連続を意味し推移を意味する。小から大へ、単純から複雑へ、未分化から分化へが成長発達である。成長発達は無から有を生ずることではない。後に大きくなるもの、複雑になるもの分化するものが、初めの小さいもの、単純なもの、未分化なものの中に含まれているのである。しかし「含まれている」とい

つても、その中にそれが小さくなつて存在しているとか、見えないように隠されているとかいうのではない。後のものはまだ全然ないのである。あるのは将来さうなる傾向というか、勢能というか、可能性というか——さういふものなのである。

そこでこの場合、幼児が持つている宗教的なものは、宗教そのものと区別するため、しかし宗教と相曳くことを示すため「宗教性」と呼ばれるのである。

よく引かれる譬であるが、植物の種子や芽のどこにも花や実はない。それを真二つに割つても、寸々に切つても、見出だされない。しかしそれは将来たしかに花になり実になるのである。さうなる傾向をもち、勢能を有し、可能性を帯びているのである。

種子や芽の時代には花や実はないから、種子や芽に対する世話や手当をひたすらにするだけで、花や実に対するそれは一切やらない。けれどもそれは将来よき花を咲かせ、よき実を結ばせるのに、しなくてはならない欠くことのできないものである。もし種子や芽に対する世話や手当をしないでほうつておけば、けつしてよき花は咲かないし、よき実は結ばない。それどころか、一輪の花も、一穎の実もつけないでしまふかも知れない。

恰も宗教は花か実である。それは後の青少年期になつてあらわれるもので、幼児期には見られないが、しかし種子か芽に比すべき宗教性を、その時代に持つている。だから幼児期には宗教に対する世話や手当はしないが、宗教性に対するそれはひた

すらにやる。それは将来よき宗教の花を咲かせ実を結ばせるのに、しなくてはならない欠くことのできないものである。もし宗教性に対する世話や手当をほうつておけば、恐らく宗教は充分に開花しないし結果しない。それどころか、一輪の花も一穎の実もつせず、人生の最も深い尊とい根本の世界を知らないで、一生を終つてしまふかも知れない。

幼児期に於ける宗教性の涵養が必要であらう重要である所以はここににある。

### ◇愛に於ける宗教性

幼児の宗教性についてまず考えられるのは愛である。彼等は愛を要求する。愛は人間の本能であり本性であるが、殊に力の弱い幼児はこれなしには一日も生きていけないだろう。

幼児期に於ける愛は、まず見えるもの、親しいものに向かつて注ぐ。親、友だち、保姆などがその対象になる。彼は彼等によつて、愛というものを知るのである。知るといつても知識的にはない、概念として受入れるのではない。彼等との現実の愛の生活によつて、経験として学び取るのである。即ち言葉による伝達や、命題の授受でなく、実際に愛されること、愛することによつて、それをわがものにするのである。

子供はまず愛されねばならない。それによつて愛は心のうちに目ざめる。

母は子供が泣けば乳をふくませる。むずかれば抱きあげる。眠くなれば歌をうたう。かくて彼の欲求は満たされる。そうし

て満たしてくれたものへ心がひきつけられる。即ち愛が生まれるのである。

そのように愛には欲求が先行する。欲求を見て取つて、充分にそれを満たしてやるところに、愛はすくすくと成長するのである。「見て取る」ためには鋭い注意がいる。「充分に満たす」ためには、深い愛がいる。そうあるのには心から相手を受さねばならない。愛することがあらゆる教育の根本であることはいうまでもないが、殊に宗教性の涵養に於ては、愛はまことに純粹で深厚であらねばならない。というのは、愛によつて何かを与えるというのが普通の教育の場合で、例えば道徳を説くにせよ、国語を教えるにせよ、お話を聴かせるにせよ、子供に對する一片の愛がなくてなされれば、それは単なる形式、方法技術となつてしまう。だから、愛が必要だとされるのである。即ち道徳、国語、お話を与えることが目的で、愛はそれをよりよく与えるための手段として裏づけとしては必要なのである。ところが、宗教性の涵養の場合は、愛そのものを与えることが目的で、手段でも裏づけでもない、絶対なのである。だからそれを受ける相手に対して、他の場合以上の愛が籠められ發揮されねばならないのである。

自分が愛されると、他を愛するようになるのは自然である。かくてその子供は愛されること又愛することが、どんなによきもの、高きもの、深きものであるかを味得し会得する。そうしてやがて彼が自覚と理解を生じて、全精神が最高存在に向かう時その経験と印象が神の内容乃至屬性に当てはめられ結びつけら

れることは極めて自然であろう。かくて力と生命がある神觀念が成立するのである。

米国の宗教心理学者ジョージ・コーは、子供の「他を愛する」心の働きと宗教との關係を特に重視してこういつた。

「児童の基督教的経験は、彼が或るものに対して親らしく望む衝動から始まる。我等がまず神を愛し、そうして他人を愛し実際に神のような關心をあらわすところの自身の経験を通してのみ、我等は神の見地に立つことができる」

### ◇信頼に於ける宗教性

幼児の宗教性として次に考えられるのは信頼である。

信頼は幼児の特徴といつてよい。それは一つには経験が狭く知慧が浅く、広い立場から觀察し、高い観点から判断することが困難だからである。つまり批判力が具わらないからである。だから、いわれるままを受入れ、示されるままに従うのである。二つには幼児に取つては、この世は未知未見の事物に満たされているので、見るもの聞くもの不安の種となり、恐れの際となることが多く、それに堪えられないからである。だから彼等は「信頼する」というより「信頼しないではいられない」のである。

それはまず始終接觸する親や、保姆や、長上に向かつてさざげられる。

まわりに異常な声や音が起つて幼児が不安に驚かれると、母はその前に立ちただかつてしつかりとかばう。目の前に見知ら

ぬものがあらわれて幼児が恐れにふるえると、保姆の手は烈しくふられてそれを追い払う。それで不安は去り恐れは消えて安定感に包まれる。かくて安全にしてくれたものに対して信頼が生れるのである。

そのように信頼には不安や恐れが先行する。しかもそれは或はごく隠微なものであり、或は甚だしく激烈なものであるから親切な行届いた心ずかいがなされねばならぬ。ふと「お母さん」と「先生」と呼びかけてきた幼児の声の中に、深い期待と信頼が籠められていることを、感じ取らねばならぬ。それを迂闊に聞き流してはならない。聞き取つたにしてもいいかげんにあしらつてはならない。況んや面倒くさいなどとほうつてしまつてはならない。そうして期待に背き、信頼を裏ぎるようなことが度重なつたらどうだろう。その子供のうちに芽ぐんだ信頼性はむざむざと薙ぎ倒されてしまうような恐ろしい結果にならないと誰が保証できよう。

宗教性涵養の立場からいえば、子供の信頼性を認めて、その発現を誤りなく取扱うというのでは、実は充分とはいえない。逆にこちらから子供そのものを信頼せねばならぬ。時に彼等に間違いがあり、ばかばかしさがあり、いやらしさがあり、いけなさがあつても、ただそのことのために、不用意に譏つたり、笑つたり、徒らに疎んじたり、怒つたりしたのでは、未だ彼等を信頼しているとはいえない。否、そういうことがあればあるほど、相手の心に深く分け入つて、その本性を見出だし、その真髓を突きとめて、信頼を新たにするのでなければならぬ。そ

れで子供の信頼はいよいよ強められ深められて育つていくだろう。

かくて時来たつて、この宇宙人生に於て、信すべきものを信じなければならぬ場合におつかつた場合、正しく且つ確かに信頼をささげるようになることは、必然といつてよいだろう。

### ◇感謝に於ける宗教性

幼児の宗教性として第三に考えられるのは感謝である。

愛が湧き、信頼が生ずると、子供は母を見るたびに笑う、近づけばその方へ手を伸ばす、顔を寄せれば歓声を挙げる。否、姿が見えないでも、声を聞いただけでも、足音がしただけでもその方へふりむいて、にこやかになる。それは欲求が満たされ不安が補われ、心が充足安定した結果、おのずから感謝の情が芽生えてきたのである。

感謝にはうれしい喜ばしい感情が含まれているが、それだけではない。それ以上である。謂わばうれしいとか喜ばしいとかは自己中心の感情である。相手がいつしよに喜べばうれしさは二倍になるが、必ずしも相手を要しない。相手は何も知らなくても自分ひとりでも喜んで喜べる。しかし感謝は必ず相手を要する。相手がなければ感謝は生じない。それは相手によつて触発され、相手に向かつて集中する感情である。純粹な美しい対他的感情である。或る学者は「感謝の情には相手が自分のためにどんな犠牲を払つたかを悟ることと、その犠牲に酬いようと望むことを含んでいる」といつたが、尠くとも報恩の心又

は行いの基礎又は前提になつてゐることは明かである。

時には感謝の念が極めて薄い人か、殆ど感謝することを知らない人がある。極端な利己か冷情の持主である。こういう人は「閉ざされた世界」に住んで、より広く、高く、深く生きることを肯んじない。それで宗教の世界など知らずに終るようなことになる。

宗教は感謝の世界である。まず自分の存在に対して感謝する。その感謝を高く見えざる神にまで拡充する。その感謝を汎く人生の與にまで徹底する。その感謝を深く困難、悲哀、逆運の中にまで浸透する。しかもその感謝から、神に酬ゆるための奉仕の生活が生まれてくるのである。

そこまでに達する感謝が、既に幼児期に発現するので、この時から實際生活を通じて感謝の経験を与えねばならぬ。それには感謝が自然に自発的に起るような経験を彼等に提供せねばならぬ。

ウィリアム・フォーブツシユはその著「子供の家庭教育」の中に、美しい例を掲げている。

「うれしいピクニックをした日、寝る前に母と子とそのことについて話し合う。あたたかい日光、美しい花、清い流れ、かわいらしい小鳥、おいしいお弁当などが思いかえされる。子供の心はおちついた喜びに満たされる。そこで自然にこんな会話が導き出される『よかつたわね。誰が連れていつてくださったの』『お父さん』『お父さん、いい方ね』『そう』『じゃあ、お父さんにお礼をいいますか』『ええ』『何てお礼をいうの』

『お父さん、ありがとうつて』『そうね、じゃあ、お礼をいつていらつしやい』子供はよろこんで父のところへいく。更にもう一步進んでこういう問答も交わされるだろう。『誰がそんな花や、川や、鳥や、お日さまをつくつて、あなたをそんなに楽しくさせてくださったの』『神さま』『神さまつていいお方ね』『そう』『じゃあ、神さまにお礼をいいますか』『ええ』そこで子供の口からこういう言葉が出るだろう『神さま、ありがとうございます』と」

『そうしてフォーブツシユはつけ加えてゐる。

『感謝が、幼児の初めての祈の中心であらねばならぬ』

#### ◇敬虔に於ける宗教性

幼児の宗教性として第四に考えられるのは敬虔である。

敬虔は崇高偉大なものに対して発する心である。それはまず差別の觀念を含む。自分と対象との差別に気がつく。差別感が大きければ大きいほど、自分の弱小を感じて、崇高偉大の感が増す。更に驚歎の感が湧く、そんなに崇高偉大なものがあるのかとおどろくのである。しかしただ自分を卑下して驚くだけでは、恐怖は生ずるだろうが敬虔は起らない。それにつづいて讚称する念が生まれる。対象に対し何等かの価値を見出だしてそれをほめたたえるのである。なおそれにあこがれの心が加わる。その価値と自分が、何等かの意味に於て関わりを持ちたいと希うのである。そこで帰依の感念、服従の態度があらわれてくる。敬虔とは以上のような内容を持つてゐるものである。

宗教が敬虔の念に基礎することはいうまでもない。それは無限の至高者を対象とし、それに驚歎し、それを讃称し、それにあこがれ、それに絶対の帰依と服従とをささげるのである。

勿論幼児にそのような複雑な働きは見られないが、相通するものは、それと看取される。

彼等は常に周囲に差別を見出だして、自分の弱小を痛感しているのである。幼児はよく泣く。思うようにならない時、思うようにしたい時、相手にされない時、相手にされたい時——何でも力の及ばない時は泣く。それは無力の自覚の変形である。

また彼等はよくおどろく。大きなものを見るとおどろき、見知らぬものに遇うとおどろく。初めて海を見た幼児が「気絶するほどおどろいた」ことを、或る親は報告している。

また彼等はよく服従する。勿論屢々否定と反抗があらわれるが、これを児童期青年期にくらべればよく服従する。幼児は親や先生の世話にならなければまだ充分に自立し得ない。弱さから、また与えられたものは一応すべて真実とする信じ易い性質から、意識の無意識的にそうなるのである。

幼児の指導者はこれをそのままほうっておいたり、いいかげんに取扱つたりしてはならない。弱小感や劣等感にならないように、驚異は恐怖にならないように、服従は強制的抑圧にならないように注意すると同時に、それをより高い方面に結びつけて、おおらかに発展させることに心がけねばならぬ。

神の絶えざる保護とか、自然界の創造としての神とか、神の整齊不変の法則とかいうことを、卑近な事例に即して具体的に

説明することも必要であるが、事実幼児が弱小を感じた際、精神的或は肉体的に力を籍してやること、すばらしい自然又はすぐれた歌や音楽のような芸術に接させて、深い感銘を与えるようにすること、或る規則又は約束を守つて遂行実現した時に、その意味と愉快を認めて褒め、又はそれに背いて怠り破つた時に、その無意味と不愉快を示して教えることなどは、より賢い処置といえよう。つまりジエームス・ブラットがいつたように、子供が行動して「自ら驚き、考え、感ずるようになることの方が、たくさんなもつたない言葉を学ぶよりも大切」なのである。

#### ◇生活経験を通して

幼児期の宗教的指導は、屢々神聖な宗教的命題又は知識を、親切に根気よく教えこむことだと思ひ做される。

「神は愛なり」ということを「イエスは救主」だということをおぼえさせることが、或はまた聖句を暗誦させることが、主の祈を暗記させることが、第一要義のように取扱われる。そうしてから「今はよくわからなくても、おぼえておけばいつかは役に立つ。幼児期におぼえたものは深く心にはいつてゐる」と。

これは真実である。墮落した青年が、幼ない時聞いた讚美歌をふと耳にして、それが改悛の動機になつたというようなことを、屢々聞く。幼時の印象は深く心の奥にはいつてゐるもので、意識の無意識的に働く。だからその人自身が思つてゐるよ

り以上の影響を与えているにちがいない。我等はそれを否定するものではない。況んやそれを無用とするものではない。しかし「口から耳へ」の印象よりは、生活経験による印象の方が、より強く深いものがある。前者は観念に加えるところがあり、記憶として残るが、後者は現実の力となり、性格形成の働きに参加するからである。

更に注意すべきことは、宗教的命題又は知識は一定の内容をもつているので、自然窮屈になり、形式的になり、延いては宗教そのものを窮屈なもの形式的なもの化する傾向があることである。比較、弁別、分析、綜合などの思考が発達した大人は、その成分と意味とを適当に解釈して、真髓を把握することができるが、示されたままを受入れる幼児はそうはいかない。

例えば「天国は高いところにある美しいところだ」と教られた子供は、天国を空に求める。即ち天国は天の一方に局限される窮屈な条件をつけられ、そこに存在するものという一定の形式を与えられる。そこで或る女の子は「いくら空を見よつてそんなものはない」と失望する。

猶進んでそれが課せられると、制限束縛となつて子供に悔むようになり、そのために反動的にさへなることもある。或る一人の幼時の記憶にこう書かれた。「クリスチャンは偶像を拜んではならない。そうすると神さまは非常にお怒りになると、父からいわれた。自分にはそれが一つの束縛になつたが、かえつてその束縛に反動して、或る時機の上に椅子をあげて、その前に頭をさげて折つてみた。けれども何事もなかつた」。

だから、一個の命題又は一種の知識によつて幼児に宗教を与えようとする時は、出来るだけ教義的な神学的な要素や色彩を避けて、現実的な生活的な単純な事実で即するようにしたい。或る学者はいつた「子供自身の経験で速かに否定するような主張や、子供に芽生えた正義感からふしぎに思つたり首肯しなかつたりするような、神の特性をまじえずに教えることはできないだらうか」。

### ◇最も基本的なもの

ウイリヤム・ブラット博士がその著「宗教心理学」(竹園賢了氏の邦訳あり)に於て、宗教を「態度」と定義したことは、幼児期の宗教性を考える場合に、一つの有力な参考を提供するものと思う。

博士は宗教を論ずる際、その内容である神観・人間観・世界観などよりも、その形式ともいへべき個人の態度を重視した。大凡宗教と呼ばれる現象について、その内容を観れば、初期の仏教から一神教まで、さまざまな相違があつて、殆どまとまりがつかない。然らばどこに共通点があるかといへば、その態度である。そこにあらゆる宗教に通ずるものが見出だされる。だから「態度」こそは、宗教の基本的なもので同時に普遍的なものといえよう。博士は「宗教とは個人及び社会が自分等の利害や運命の最後の支配権を持つていると思つ力及び諸々の力に対する真摯な社会的態度である」と定義し、その「態度」を「与えられたものに主観的に反応する能動的な意識状態である」と

解釈した。更に宗教の内容がちがうのは、それが教義的神学的要素から成立しているからだとし、進んで「子供が概念的にものを考える年頃になる以前に教義を教え込もうとするのは、非常に覺束ない方法である」と結論している。

これを本稿に於て述べたところに照合すれば、幼児期には出来るだけ事実に沿い生活に即して、経験として宗教性を覺醒するように説いたことは、即ち宗教的態度を養うことに当たり、又成るべく教授や説示による宗教的知識乃至觀念を与えることを避けるように述べたことは、即ち教理的神学的内容の提示を斥けることに当たるのである。そうとすればその行き方は、取りも直さず宗教としての基本的な共通的なものを育てることになるであらう。

想うに宗教の内容は、その人の精神的內容の成熟に従つて、それぞれの性格と、環境と、遭遇によつて与えられるものである。しかしそれをいかに受入れるか、受入れていかに發展するか、發展していかに結実するかは、一にそれに先行する宗教的態度の如何にかかるとあらう。幼児期に於ける宗教性の涵養はかかる意味と、役割と、使命を有するものといつてよからう。

(45頁から) 「ウソウソ、ウソおつしやい」という事になる。

こどものお話は大部分こつこつ混同を含んでいる。つまり純個人的立場だけをよりどころにして、全てが物語られるのである。子どもにケンカが多いのもこの為である。ケンカでなくて、口論、又は討論になるためには、二人が各「客觀的主義」を確立して、その共通の地盤に立たねばならない。幼児にはこれができないのである。

(51頁から) 蟻の分泌が旺盛な若蜂は巢の造業に専念するか、壮年の蜂は巢を遠く離れて蜜源を探訪するとか、夫々その生理的機能に依じて行動することはいうまでもない。

### おわりに

ほんの大きつばではあるが蟻や白蟻、果は蜜蜂の社会生活をかいま見た読者はきつと直に自分達人間の社会生活を考へて見るに相違ない。そして何か割り切れないものをお感じになるのではあるまいか。そうした後味の悪さを幾分でも補正する意味で一言付加えたい。

要するに昆虫の社会は、一種の家族社会なのであつて、コロニーのメンバーは血統關係にあるといつてよい。而もこのコロニーの主宰者は、たゞ偉大なる生殖能力があるということのために存在価値があるのである、又コロニーに於ける職能的分化は總て生理的、形態的な、それこそ極めて顕著な裏すけの下に始めて矛盾なく發展して来たのである。(農傳 農林技官)



# 幼児の絵画製作の種類



— (1) —

副 島 ハ マ

保育所や幼稚園は、幼児に絵画や製作や、その他の保育内容を教えこむ所でないことは今更私がりたてて云うまでもありません。保育所や幼稚園の目的は、幼児の心身の健全な育成にあつて、その心身の発達の一手段として、保育内容が考えられ、その中の又一部分として絵画製作が存在するのであります。学校教育法には「……絵画その他の方法により、創作的表現に対する興味を養ふこと」とあつて、絵画と製作——（その他の方法の一つとして考えることは当然許されるでしょう）——創作表現の興味を養うための一つの方法に過ぎないのであります。

所が、こういう重要な目的をもつた絵画製作を、或保母先生方は、たつた一つの製作品——例えば折り紙の鶴なら鶴——を上手に正確に作らせるために努力を払われて、創作表現に対する興味を養うという製作の目標や、心身の健全な発達という保育の目的に、程遠いのみならず時には、逆効果があると思われれる方法で、絵画や製作を指導して居られることがあります。

幼児の絵画や製作は、出来上りが主眼でなく、描画過程や製作過程に多くの教育的価値があるのであります。大人の場合なら、過程では苦勞をしても、出来上り品の出来ばえや

芸術的価値を見ますのですが、時々そういう気持ちで幼児の製作を指導している保母先生があることは残念だと思ひます。

例えば幼児が折角、折つた折り紙を正確でないからとて折りなおしたり、大変な努力で切つた切り紙が、ゆがんでいるからといつて切りなおしたりなさる方がありますが、これは大人の目からきれいな製作品になつても、幼児に製作に対する自信——自分でもやればできるという自信——を失わせ、向上心——もつと作りたいという向上心の芽ももぎとつてしまふ結果にしかならないのです。こうして考えますと、絵画製作の指導も、よく考慮して行わないと面白くない結果をもたらすことになりません。

まして、教育法にある創作的表現などということは、製作の中の創作活動に役立つような方法、例えば描画とか、切り貼り紙、組立紙細工、自然物細工などのようなものでも、幼児が好んで絵画製作をしたいという意欲をもつてする場合と、全然保母先生方の立案されたものを押しつけて教えようとするのでは、創作活動の度合が違いますし、又、まして塗り絵や折り紙や紋形切り紙のように、手先の技術を主とした絵画製作が毎日行われるようでは、折角、創作的表現を期待された絵

画製作の存在価値がなくなるわけです。

こうして考えてきますと、絵画製作を行う場合、その目標をはつきり見つけて行うことと、それから、絵画製作の指導をする時、その描画や製作過程の教育的価値を考えて指導しなければならぬことが、納得されると思えます。

然し、単にそれだけでは、絵画製作の指導はできません。理論では幼児の保育はできないのです。理論には必ず実技が伴って、初めて実技を通して、保育の原理が、幼児の身に伝わるのです。

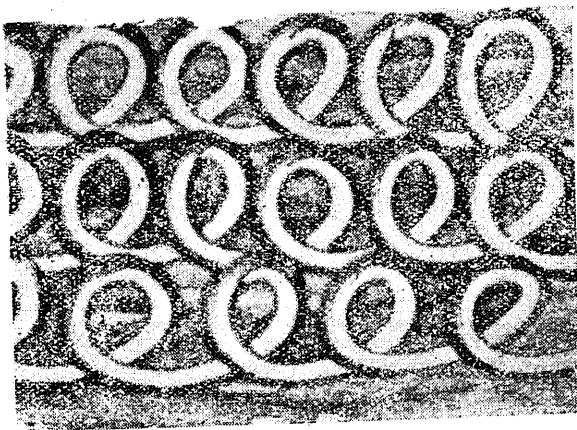
創作表現をするのに、クレヨンの自由画と塗り絵と、折り紙と、切り貼り紙とだけでは如何にもその表現内容まで、せめられはしないでしょう。絵画の種類も、製作の種類も沢山知つておれば、それだけ自由な表現が豊かにできるわけです。その意味からでも、たやすく幼児が消化できる範囲の多くの種類は与えたいものです。

幼児の心身の健全な発達を願うならば、保育の在り方は自由保育でなければならぬこととは、今更申すまでもなく、皆さま充分御存じのことと思いますが、自由保育の指導をする保母先生方は、保育教材が豊富でなければならぬこと、も一つには多くの技術を心

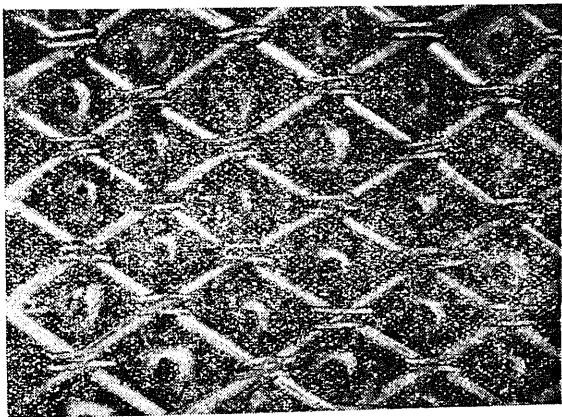
得て頂かなければ、その時々々の幼児の要求に満足のいく指導は難しいと思います。その点からでも、保母先生方は多くの実技を勉強して頂きたいと願っています。

その意味で、これから二三号続けて、幼児の絵画製作の種類を書きたいと思います。長い御経験のある保母先生方には無駄なことで

(第一図)



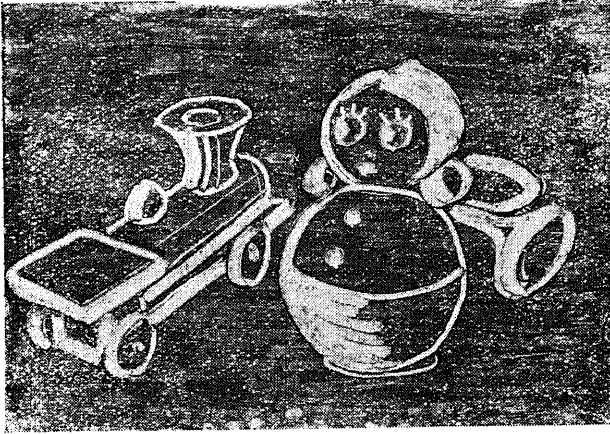
(第二図)



又かと云われそうですが、若い新らしい先生と一緒に勉強していききたいのです。

指繪

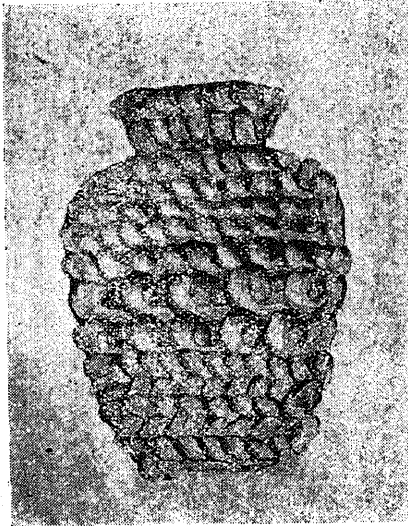
先日、アメリカから帰つてきた一人の方から「副島さん、あなたによいお土産話を聞かせて上げましょう。アメリカでは指繪という



のが流行していますよ。何処の幼稚園や保育所でも、子供たちが楽しそうに指絵をしているのが見受けられます」と伺いました。アメリカの教育映画などでも糊の瓶に似た器物から、絵の具を紙の上に流しこんで指絵をしているのを度々見ますが、きつと皆さまの目に  
 (第三図)

留まっていることと存じます。何もアメリカのものなら何でも真似しなければならぬとは思いませんし、この頃アメリカに行つた人の目に留つたようですが、拙著「幼児の絵画と製作」は戦時に書いたものですが、それにも指絵は入れておられます位ですから、もつと以前から行われていたことと存じます。然し、未だ砂場遊びやクレヨン画程、子供の生活に近く入りこんではいないようであります。

(第五図)



(第四図)



未だ子供にさせていらつしやらない所があつたら、ぜひ試みて下さいませ。子供は、砂遊び——砂で絵を書きような喜びの中に、楽しそうに指絵を描きます。そしてこれこそ創作表現に最もふさわしい又自由保育に適當な保育内容だと思ひます。

方法法は、小麦粉(なるべくふすまの入らないものの方が、色が鮮明にでき上り

ます)を水でよく溶かして火にかけ、ごく薄  
い糊をつくり——(少しでよければ、瓶入り  
の糊を溶かすとい。その場合、ぶつぶつ  
かたまりができないように注意する)——水  
彩絵の具を少量加えて、よくかき混ぜて絵の  
具を作ります。

先づ新聞紙か廢物の紙の上に画用紙を置き、  
今の絵の具を紙に移し、絵筆か指で平らにの  
ばし、指で絵を描きます。指は人さし指だけ  
でなく、時には親指を使うと大きい線ができ  
小指は細く、爪を使うと更に小さい線ができ  
ます。指で絵の具の上をなでる度に、白い線

### (13頁から)

もし虫卵があつたら、さつそく駆虫す  
ることである。サントニンや海人草の  
系統の薬が効かないときは、アスキス  
のような副作用のほとんどない別の薬  
を用いるとよい。

貧血のために疲労が甚しいことがあ  
るが、すぐ増血剤を服用しないで、よ  
く原因を確かめてからにするのがよ  
い女性に特有な生理的あるいは病理的  
現象が疲労を多くする場合は決してす  
くなくないし、ことに腰痛が性器の位

と同時にその周囲に糊の濃い所が指の方向と  
共にできていつて、仲々面白いものです。

この方法は以前から行われていた方法です  
が、次のような方法を試みて見ました所、大  
変面白いものができますし、この方が、材料  
も用具も少なくてよいし、又簡単ですので、せ  
ひ皆様も御実行下さいませようお願いまし  
ます。

それは、まづ最初に説明したような糊に溶  
かした絵の具を、数種作つて置きます。

そして、丁度クレヨン画を描く時の要領で  
絵の具を使いわけて、指で画用紙に描いてい

置異常にすることもあるから、専門医  
の診断を受けるのを、ためらわないよ  
うにしたい。

健康な睡眠は、先生たちにとつて最  
も安全で簡単な疲労恢復法で、健康な  
疲労は健康な睡眠によつて拭い去られ  
るはずである。睡眠剤の助けがなけれ  
ば眠れないようでは、どこかに異常が  
あると思つてよい。

精神衛生の面でも疲労は大いに問題  
となる。若い先生に気苦労、気疲は附  
きものであり、同僚や母親らに実力以

くわけです。この方に使う絵の具は、前の方  
法の場合より、幾分濃い目の方がよいよう  
ですが、余り濃過ぎますと、仲々乾かなくて、  
仕末に困ります。

この方法は一寸油絵のような感じが出て、  
仲々捨てられない面白さがあります。指だけ  
で描けますので、絵筆が入用だとか、絵筆が  
いたんで困るといふ心配もしなくてよいわけ  
です。唯注意したいことは、衣服をよごさな  
いようにすることと、済んだら指を一旦古新  
聞紙で拭いてから、石鹼で手を洗うように指  
導することです。

(未完)

上に見せようなどと無理をすれば尙更  
のことである。わたしは叱られたと  
き、自分が悪ければ叱られるのが当  
然、先方の虫の居所や性格の相違など  
によつているのだつたら自分には責任  
がないと態度を決定してから、すつと  
気らくになつた。気をらくにすると疲  
れはへることに疑ない。

疲労したら、その由つて来るところ  
を分析して疲労が蓄積しないうちに絶  
えずその恢復に努めよう。

(東大教養学部教授)

# 蟻と蜂の生活から

深谷昌次

## はじめに

ある有名な昆虫学者は「蟻の社会に欠けているものがあるとすればそれは銀行と学校と病院位のものである」と云っている。実際蟻や蜂の社会生活をつぶさに調べて見ると、こころした嘆声の意味がよく分るような気がするのである。

誰でも昆虫の社会生活というものがどんなものであるかということに就いては一通りの知識を持つていると思う。併し果して昆虫のあの秩序立つた集団生活と人間の社会生活との間には相同的な関係があるだろうか。漠然と使つてゐる「社会」という通念、それは人間の場合と同様に昆虫にも通用させてよいものだろうか。

蜜蜂の如くに勤勉であれとか蟻の社会の如く整然たれとかいふ一言はあくまで比喩的なものではあろうが、果してこれ等昆虫は我々人類の範となり得るものであろうか。そうしたことに示唆を与えるのが本文の目的ではないが、この機会に読者が小さな昆虫の生活にも興味を持たれるよう希望して止まない。



さて一般に蟻と蜂は別物扱いにされているが、それは誤であつてこの両者は分類学上同一のグループに入るのである。蟻には翅がないが蜂にはそれがあるとお思ひになつたら間違ひで、蟻の中にも翅の生じることは周知の通りだし、翅の全くない所謂「蜂」もあるのである。又白蟻というのがある。これは蟻とはいつても元来大分縁の遠い昆虫なのであるが、その格好が似ているし、社会生活を営むので蟻の兄弟位いに考えられているのであろう。

蟻や白蟻の仲間は殆ど全部のものが社会生活を営んでいるといつてもいい。それに反し、蜂には社会生活をするものもあるし又孤独なひつそりとした生活を楽しんでいるものもある。

では一応以上のことを念頭に置いた上で次文を読んで戴き度い。

## 蟻の生活

蟻の一族は前述したように総てが所謂社会生活を営んでいる。蟻の種類はまた豊富であつて今日世界中で約三五〇〇の種類が知られているといふ。この様に種類が多いので、一概に蟻の生活といつて

も捕え所がない程複雑多岐である。

適当な時期に蟻の巣を掘つて見ると体の大きな女王蟻、翅のある雄蟻それから比較的小型の幼蟻を同時に見出すことが出来る。このような種内に於ける生理的、形態的分化を「階級」と一般に呼んでいる。又特に幼蟻階級は更に色々な型に分化していて、一種の職能的階級を彷彿させるものすらある。

女王蟻はいうまでもなく卵を産んで子孫を増やすのが任務であつて、一つの巣(コロニー)の主柱をふやしている。雄蟻はコロニーに常在するものではなく新に生れ出た女王が交尾をする時期にだけ必要なものである。

幼蟻は前述したように幾つかの型に分れ所謂「多型」を示すものもあるが、またその体軀にあまり大小がなく単純化しているものもある。

多型といわれるものの中で特に顕著なのは強大な顎を持つ兵蟻という階級である。一朝有事の際全コロニーの運命はこの兵蟻の双肩にかゝることになる。幼蟻も兵蟻も元来は雌で女王蟻になる資格はあるのだが、どうした訳か生殖能力を欠いている。普通我々が家庭で接する蟻の多くはこの蟻に属していると思つて間違いない。

又チイロヤマアリという蟻はヤマアリの巣を攻撃して幼虫や蛹を略奪しこれを奴隷に仕立てるといふ手のこんだことをする。尤も奴隷といつても人間の社会にあつたそれとは違つて寧ろ幼蟻の助手役と理解した方が穩当であろう。

ある種の女王蟻は違つた種類の蟻の巣の中に侵入し、親蟻を片端から殺し新に羽化して出て来る幼蟻だけを手なずけてこゝに君臨する。やがて女王の血筋をひく蟻が生れて来るから一つの巣に違つた

種類のものが混成することになる。

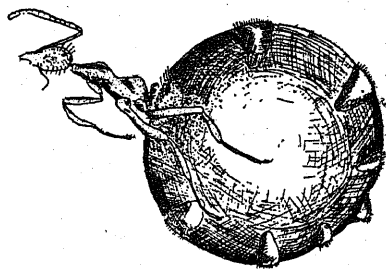
幼蟻の任務は至つて広範で幼虫の哺育から食物の獲得・搬入・巣の構築といつた凡そ勞働の万般に亘るのが常である。蜜蟻という種類では幼蟻が蜜の貯蔵タンクに化け天井からぶら下つたまゝの生活をやつている。(1図参照)

また一種の菌を培養して所謂農業的生産をあげているものもある。蟻がアブラムシを保護してその甘汁を受け取る事實は人間の牧畜にも例えられて妙である。

このような仕事は夫々の種類に属する幼蟻の天来の任務なのである。一概に幼蟻といつてもその老若に従つて勞働に軽重があるらしく、巣にあつて子供を哺育するのは若い頃と年をとつてからといつた

あんばいで皆生理的な分に依じて定められているのである。整然とした蟻の生活を見ると我々は一寸羨しくなるが、蟻の社会にも不勞所得の居候だの強竊盗類似の行爲があるのだから面白い。併しこのような例に一々触れていたらきりがないので少々話頭を変えよう。

一体蟻の社会生活は何時頃から始つたものであろうか。ヨーロッパのある地方からバルト琥珀というのが出るが、その中に往々古代



蜜蟻

(1圖) 腹部に蜜の貯蔵タンクに化けている

の蟻が閉じ込められている。この蟻を調べて見ると明かに今日と変わらない階級の分化のあつたことが伺われるのである。この琥珀は五五〇〇万年乃至六五〇〇〇万年の古代に生成されたものであるといふから蟻の社会生活はそうした太古から連続として続いて来たことになる。人類はたつた百万年前にジャヴァか何処かの密林の中で猿から別れて立ち上ることが出来たというのだから一寸考えさせられる。

### 白蟻の生活

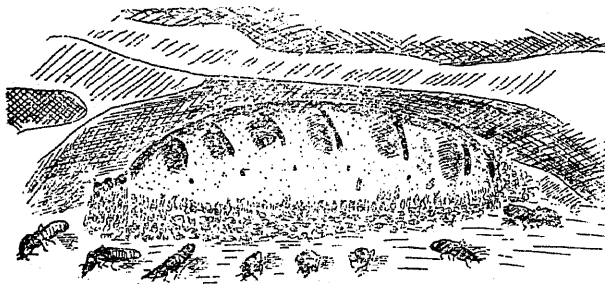
白蟻の女王は数秒毎に時計の様に規則正しく一個の卵を産む。だから女王は一日に約三万八千個、年に一千万個、約十年の彼女の生涯に一億個もの卵を産むものと推算される。こうなると生物というよりは精巧な機械か能率のいゝ工場といった方が当つているかも知れない。

高度の社会生活を営むという点で白蟻は蜂や蟻の仲間と考えられ勝であるが、前にも記したように大分これ等とは緑の遠い寧ろ原始的な昆虫なのである。

風通しの悪い家の土台に巣を造つたり書庫に重ねられた書物をぼろくにしてしまつたりする白蟻の被害は馬鹿に出来ない。熱帯地方の日常生活は白蟻から切り離せない。

白蟻のコロニーは種によつてその規模が違ふ。数十個体から成ることもあるじ、数十万乃至数百万個体を含むものもある。

蟻で見られた階級の分化は白蟻の社会にもそのまゝ見られる。いや白蟻に見られる「階級」は蟻のそれに比較すると更に複雑である。即ち基本的には女王、雄、幼蟻、兵蟻を区別することが出来る。



小山の蟻の女王を取巻く幼蟻  
大型は兵蟻

(2回)

が、大部分の種で女王となり得るものに三つの型があり、一は真正女王、二は副女王、三は代用女王ということになる。これ等は何れも卵を産むことが出来、且つ夫々対応する「雄」の存在するのが普通である。又幼蟻、兵蟻とは不妊性であるのが一般だが例外的に卵を産む場合もある。

巣の構成員はふだん翅を持っていないが、ある時期に有翅の雄と雌を生じる。すると突然群をなして巣を去り、空中に飛び上つて所謂「結婚飛行」を始める。併し実際は交尾しないで地上に下り雌雄一対でさゝやかな巣を構築し、こゝで始めて交尾が起るのである。

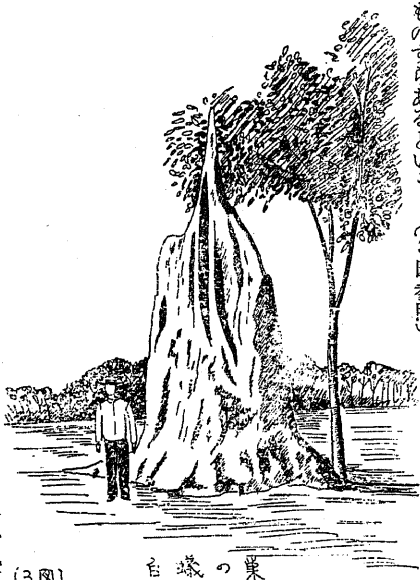
先に述べた第二の型の副女王は、女王の代用品ともいふべきもので女王に万一のことがあつた時女王に成り上るものと考えられている。

幼蟻は蟻のそれと同様給食とか巣の構築といった色々な仕事に献身している。頭が特別強大に発達している兵蟻はいうまでもなくコロニーの防衛者の役割を演じる。

白蟻の食性は非常に複雑であつてその詳細を述べる訳にはゆ

かない。幼蟻が食糧を外部から運び込んでそれを他のメンバーに頒ち与えるといった単純なものではなく、それ等を一たび体内に摂取し部分的に消化したものと、唾液とか糞とかいいたものをお互に交換するのである。又女王蟻の体表からはある種の栄養分を分泌するので多くの幼蟻によつてかきずかれるといった結果にもなる。(2 図参照) 白蟻の仲間にも蟻と同様に菌の栽培をするものがある。

白蟻の巢は普通我国で見られるような無構造のたぐのんべんたりと木材の中に広がっているものと、立派な円錐型或は塔状型をなしたものとに分けられる。オーストラリアで発見される白蟻の塔は高さが二十尺にも及ぶものがある。その建設には十年以上の歳月を要するものすらあるという。(3 図参照)



白蟻の巢

(3 図)

白蟻の駆除には各国で手を焼いている。我国でも被害の多い地方では白蟻駆除を専業にしている向もあつて、その駆除薬は秘中の秘となつてゐるからなかく教えて呉れない。何しろ巢の奥深くにひ

そむ女王を殺さなければ、コロニーは永遠に安泰なのだからその駆除にも骨が折れる訳である。

### 蜂の生活

誰でも幼少の頃一度位いは蜂に刺された経験を持つてゐると思ふ。泣面に蜂という言葉があるように、蜂には恐しい毒針があるものと思ひ込まれてゐる。又足長蜂とか蜜蜂のように普通目にとまる蜂の仲間は多く集団生活をしてゐるので矢張蜂は社会性昆虫だと信じてゐる人が多い。それは併し一知半解というもので、針を持たない蜂も沢山あればまた終生孤独である蜂もいる。

フアーブルの有名な昆虫記でなじみ深いオスマリアという蜂は我国でも漸く葉桜の緑が美しくなる四月下旬に忽然と現れ、軒下にかゝるすだれの竹筒に巢を造る。竹筒の中に花粉だの蜜を貯え土で仕切を造り次々と育児室を完成してゆく。又夏になると大事なバラの葉を丸く切つて取るいたずら者がある。これは葉切蜂の仕業である。

オスマリアも葉切蜂も蜜蜂の親類筋に當るが共に一匹の雌蜂だけで女王蜂兼幼蜂の役割を果してゐるのである。

注意深い人は大きな青虫が、やせ細つた蜂に捕えられ地上をずらく運び去られるのを目撃してゐると思う。これはジガバチという矢張孤独性の狩人蜂で、地下に造られた独房に青虫を運び込み、これに卵を産下すると、入口をふさいで何処ともなく飛び去つてしまふ。

又蜂の仲間には寄生蜂といつて、他の昆虫に寄生して育つ全く虫のいゝものもある。寄生といつてもノミやシラミが人の体に寄生するのとは異り寄生蜂の場合、寄生された宿主は最後にもぬけの殻に



なつてしまふ程完全に食われてしまふのである。昆虫の大部分は害虫であるからこの寄生蜂類は農業上非常に珍重されるのである。

尼長蜂、胡蜂、丸花蜂、蜜蜂の類は多かれ少かれ集團生活乃至は社会生活を営んでいる。限られた紙面なので、こゝでは主として蜜蜂の生活をかいつまんで説明しようと思う。

一体蜜蜂が人間に飼養された歴史は非常に古いものらしく、遙か有史以前に始つたものと思われる。旧約聖書にヤコブからカナンの名産としてエジプトのヨセフに贈つた礼物中に蜂蜜のあることが記録されている。又出埃及記の中に乳と蜜の流れるカナンの地と書かれてある。彼のバプテスマのヨハネはユダヤの野で蜜と蠟とを常食としたとも記されてある。フアラオ王（古エジプト王）の治下での絞つた蜂蜜の値が六合五錢位の値段であつたことも知られている。

人類が蜜蜂の生活を間近に観察するようになってから、その偉大なる徳性？は何時か人間の範とするに足るものとなつてしまつた。勇氣、献身、愛情、勤勉、節儉、純潔、貞節は蜜蜂がよつてもつて立つ道德的規範であるように見える。

さて蜜蜂の一社会が一匹の女王を中心とした数万の幼蜂と時に幾百かの雄蜂より成ることは周知の通りであるが、このような成員の割合がどうして決定するかということには興味を惹かれる。元來同性であるべき女王と幼蜂とがいかに分化したのであろうか。この問題を少し追究して見ると、そこには人間社会では一寸想像もつかないような仕組があるのである。

人の世の中に継子扱いという言葉がある。実子にはうまいものを食べさせながら継子には祿なものもやらないという類である。若しそういうことがあるならば同じ兄弟の間に著しい發育上の相違が生

じることは当然である。この様に苛酷な仕打ちは人間界では滅多に見られない現象であるけれども、蜜蜂の社会では日常茶飯事なのだから呆れる。では實際どんなことが起るのであろうか。受精した卵から孵化したばかりの蜂の幼虫は例外なく幼蜂の唾腺から分泌される特殊の栄養物で養われるのである。それは乳児が母乳で育てられるのと同工異曲である。人間の場合、乳児は生後七、八カ月も経つと俗にいう離乳期に入るから、次第に固形物、例えばおまじりとかウエファース等を当てがえるようにしないと良好な發育は望めなくなる。蜜蜂では人間と一寸趣を異にし、将来女王となるものは引續いて母乳に相当する分泌物で育て上げられるが、将来幼蜂とか雄蜂になる幼虫は孵化後四日目から離乳して蜜と一たん幼蜂の胃の中で消化され吐き出された花粉のおまじりで養われるのである。

数万からなる蜂どもの社会に君臨する女王となるのもまた彼女の卑しき奴隷となるのも、育児係の匙加減一つで変るといふことは考へて見ると不思議な宿命ではある。幼蜂が分泌するこの特殊な栄養物の正体は一体何であらうか。こういつた疑問は当然起るのであつて、幾人かの学者はこの神秘を暴こうとしてその化学的分析を企てたのであつた。が併しその結果は区々であつて、未だ決定的なことはいわれないのである。併しそれが花粉や蜜と比較して特に優良な蛋白質を含むことだけは確らしいのである。

女王蜂の産卵能力も偉大なものであつて、春先には二分間に一つの割合で産卵するというから、一日に産み出される卵の重さは女王の体重に等しくなる勘定である。

幼蜂の役割は蟻や白蟻の場合と根本的には同じである。蠟の分泌



ア  
メ  
リ  
カ  
童  
話  
か  
ら

18

松 原 至 大

サリー・アンの涙

サリー・アンは、目をさましたとたんに、今日は、楽しい日だと思いました。目を輝かして、あたりを見まわしました。心がわくわくして今にもなにか、うれしいことが始まるように思えました。

「ねえ、マーサが、お部屋にはいつてくると、

「ねえ、マーサ、今日もうれしい日よ。」と呼びかけました。

「ほんとうでございますよ。」

と、マーサは、サリーの着かえをひろげながら答えました。「夏だと申しますのに、今朝は春の日みたいですよ。お食事の前に、ちよつと外へ出てみましょうか——」

こう言うマーサの顔も、にこにこしていました。

「わたし、顔を洗つたり、着かえたりする間、おとなしくしているわ。」

サリーは、ベットからぬけ出すと、すぐに約束をしました。

糊のついた青いドレスを着て、ピンクの頬のあたりに、金髪のカールを、ひよいひよい動かしながら、ぴよんぴ

よんはねて、ホールへおりてから、外へ出たサリー・アンは、まるで花のようでありました。子猫のメリー・レッグスが、そのあとを追いかけて行きました。

外の空気には、育つて行くいろいろなもののよい香りが、いつばいでした。ふわふわとした、大きな白い雲が、青い空にゆつくりとただよつていました。そのうしろから、小さな子供の雲がついて行きました。

「雲も散歩に出かけるのねえ。それとも、買いのものかしら。」

こう言つて、サリーは、お家の花が、どの位のびたのか見ようと思つて、走つて行きました。

こんなに楽しい日でしたから、もうしだれかがサリーに、三十分もたないうちに、あなたは、玄関のステップで大涙をこぼすようになりますよと言つたとしても、サリーはほんとうとは思わなかつたではありません。

けれども、それが、ほんとうのこととなつたのです。間もなくサリーは、きれいな花も、小さな子供の雲も見えなくなりました。メリー・レッグスが、慰めにきてくれても、足で追ひのけました。

「わたし、涙で、ハンケチを、びしょびしょにしちやつた。」

小さな青いハンケチを、エプロンのポケットにおしこみながら、サリーは、まだ泣いていました。

「今度は、エプロンをぬらしてしまふんだわ。それから、バケツもいつばいにするんだわ。」

こう言つて、前かがみになつて、エプロンの上に、涙をこぼしはじめました。その時、ふしぎなことがおこりました。サリーの涙は、ちつともエプロンに吸いこまれて行かないのです。ただそれはころころとこぼれて、ピーズのような小さな玉になりました。

サリーは泣くのをやめて、それを数えました。

「一つ——二つ——三つ——四つ——五つ。」泣き声で数えてから、やがて目を大きく見はりました。だつて涙

の玉の中になにかでいつか見たことのある、それはそれはかわいい生きものが立っていたのですもの。それは、サリーの小指よりも、小さいのです。そのドレスは、どこもきらきらしていて、霜のようでした。その目は青くて、お家の花壇のへりのところにあるグリーブ・ヒアシンス（ぶどうの房のように、るり色の花がついている小さなヒアシンス）の、まるっこい小さな房を思い出させました。

この小さな生きものが、じつとサリーの目を見つめて、

「なぜお泣きになるの？」

と聞きました。

「わたし、わたし——」

と、サリーは言いかけましたが、あまりびつくりしたので、

「忘れちゃったわ。」

と言つてしまいました。

「わたしは、涙集めの女王ですよ。わたしの助手たちが教えてくれました。あなたが、涙をむだづかいしていますつて。」

こう小さな生きものは言いました。

「涙をむだづかいしてつて？」

サリーは目をまるくして、問いかえました。

「そうですよ。助手たちが、あなたは、どんなつまらないことにもお泣きになるつて、言っていますよ。だから助手たちが、いそがしくて困つていますよ。」

「まあ、それ、どういふこと？」

「助手たちは、どんな涙でも、『涙の御殿』に運んで行かなければならないのですよ。ごらんなさい。もう、あなたの涙を運びにきました。」

五人の小人が、茶色のドレスを着て、頭の上に長いとんがり帽をのせて、羽根のはえた小さな靴をはいて、いっしょうけんめいに涙をひきずっていました。小人たちが、しつかりと涙をかかえると、靴の上についた小さな羽根は、空気をあおぎはじめました。すると涙集めの小人たちは、しずかに地面を離れて行くのでした。

「サリーさん、『涙の御殿』へ行つて、あなたの涙が、どれだけあるか、ごらんになりませんか？」  
涙集めの女王がこういふと、

「まあ、うれしい。どうぞ。」と、サリーは答えずにはおられませんでした。

女王が、杖を振りました。すると、サリーのからだがだんだん小さくなつて、女王と同じくらいになりました。女王は、また杖を振つて、やさしい声で、歌をうたいました。

「ランバ、グンバ、ドイツグリー、ロー、わたしたちを連れてお行き。」

ふたりは、だんだん高くのぼつて、空を走つて行きました。サリーの身体も、たんぼの綿毛のように、軽くなつていたのでした。

サリーは、地面を見おろしました。今までいた町が、クリスマスのお店で見たおもちやの町のように見えました。町を走るいろいろな車が、いそがしい蟻のように、行つたり来たりしていました。やがてふたりは、雲の中にはいりました。と思うと、にわかに目の前に、きれいな、輝くような御殿があらわれました。

女王はサリーを案内して、広い階段をのぼると、見たこともない大きなお部屋にきました。ピースで作つたとほ

うもない長い鎖が、天井からも、また壁にもさがつていました。すきとおつて、きらきらしたのもありました。ばら色のも、青いのも、ねずみ色のもありました。

「これは、みんな涙ですよ。」

と、指さしながら、女王が言いました。

「あの小さな助手さんたちが、この涙を一つ一つ、運んだの？」サリーが聞きました。

「そうですよ。でもあの人たちは、運ぶのを少しもいやがりはしませんよ、なぜかといえばそれはみんな、楽しい時の涙ですから。」

「楽しい時でも、涙は出るの？」

「とても楽しい時には、涙の出ることもありますよ。」

と女王は答えました。

幾人かの小人たちが、サリーの近くで、いつしうけんめいに、一本の涙の鎖を作っていました。サリーはそれを見て、

「この涙は、お母さんの指輪のダイヤのように、光っているわ。」

と言いました。

女王は、その涙の一つに、手をふれて、

「どの涙の中にも、それが出るようになったわけが、絵になつてはいつています。中をのぞいてごらん下さい。」と言うと、サリーを抱き上げて下さしました。

サリーは、涙についた一つの窓から、明るい小さなお部屋をのぞきました。テーブルの上に、小さなクリスマス・

トサリーが立つていて、それに、クリスマスのお菓子を入れたバスケットが掛けてありました。一人の女の子が、腕にしつかりと、金髪のお人形を抱いていました。そのお人形のピンクのドレスの上に、二つぶの大きな涙が、落ちていました。

「わたし、知つててよ。どうしてあの子が泣いているのか。サンタクロスのおじいさんが、あの子のことを忘れなかつたのが、うれしいんだわ。」  
と、サリーが言いました。

「あなたは、お利口さんですよ。」

と、女王は笑いながら言いました。けれどサリーの手が、ねずみ色の涙の方へとどここうとすると、女王の手が、それをおさえました。

「ねずみ色の涙には、さわつてはいけません。それは、悲しみの涙なのですから。」

女王が、説明を下さいました。

「わたしの涙は、どこにあるの？」

サリーがたずねました。

「いらつしやい。お目におけましよう。」

こういわれて、サリーは、長いホールへおりて行く女王のあとに、ついて行きました。そこにも大勢の涙集めの小人がいて、みんな涙をかかえて、重そうに歩いていました。

「みんな、すいぶん疲れているわ。」

サリーが言いました。

その小人たちについて、サリーと女王は、大きな部屋の中にはいりました。すると女王が

「これは、むだな涙、なんの役にも立たない涙です。あなたのは、ここにありますがよ。」といいました。

サリーはびつくりして、見まわしました。そこには、どこを見ても、きたない涙の繩ばかりでした。一つも、きれいなのはありません。

「どれも、どれも、きたないのばかり。」

とうとうサリーが、声をあげました。

「お役に立たない涙は、いつでもきたないですよ。」

女王が、悲しそうに言いました。

サリーは、その一つをのぞいて見ました。一人の男の子が、足をけ立てたり、わめいたりして、床の上をころんでいました。もう一つのは、小さな女の子が、お兄さんのスケートをほしがって泣いていました。

「この子供たちは、こんなに大きいのに、泣いたりして。そうやって泣くのは、赤ちゃんだけよ。」と、思わずサリーが言いました。

「このお部屋にある涙は、大きいくせに泣いた子ですよ。それはどれでも、楽しい一日をだいなしにしてしまいます。でも、あなたの涙も、ここにありますがよ。」

と、女王が言いました。

サリーは、その一つを、よく見ました。すると恥しさで、顔が赤くなりました。

「わたし、オートミールをおねだりしたわ。フレンチ・トーストがほしいついで、泣いたわ。お父さんが、わたしを食卓から、お連れ出しになつたわ。今朝わたしが泣きわめいたのは、そのためよ。」



サリーは、かくさずに言いました。

「なんにもならない涙ねえ。」と、女王がやさしく言いました。

「わたし、もう、そんなことで泣きません。」

サリーは、約束をしました。

「あなたは、たしかね。地球の人は、忘れっぽいけれど。」

女王は、また悲しそうに言いました。

「きつとよ、わたし、きつと泣きません。」

「まあ、うれしいこと。ほんとうにしつかりすれば、どんないけない習慣でも、なおすことができますよ。さあ、もう、お帰りの時間がきましたよ。」

女王は、手をたたいて、しずかに歌をうたいました。

「ランバ、ダンバ、ドイツダリー、ルーム、この子をお家へお連れしな。」

サリーは、ドアの外へ連れ出されました。ふわふわと地面へおりて、ぼんと音がしました——そこは、サリーのお家の裏口でありました。子猫のメリト・レッグスが、草の上を走つておむかえにきました。

サリーは、空を見上げました。もう女王も、御殿も、涙集めの小人も見えません。けれどもサリーは、雲の上に高く、女王たちがいることを、御殿のあることを知っていました。

「わたし、忘れないようにしようつと。」

サリーは、そつと心の中で約束しました。それからにつこり笑つて、オートミルを食べに、お家の中へはねて行きました。

(ゴールデイー・グラント・テイル女史の作による)

# 自家中毒症

齋藤文雄

ふつう自家中毒といっているが、一体どんな病気なのか。先づ、ごくありふれた解説を試みることにしよう。

この病気は、ふつう突然に初まることが多く、尤も一日二日前から、元気がなかつたり不機嫌だつたりすることがあるが、この時期に、病気が起りそうだと気がつくのは、母親くらいのものである。そのことは、あとで書くつもりである。始まると、あくびを頻りにする。本当に無力性になり、ぐつたりしてしまう。打ちのめされた感じといつていゝくらいぐつたりしてしまう。意識は明瞭であるがいかにも眠い。そして嘔気と嘔吐で起される一寸したことで吐く。食物は始めの中は多少出るが、あとは胆汁や粘液ばかり吐く。ひどくなると茶褐色になつたり血液を吐く。も

つとひどくなると、血ばかり吐くこともある切りに「お水お水」を訴える。こんな時、お腹は、時にごろごろいうこともあるが、お腹の皮が、とても軟い。お臍のあたりを抑えると脈が手指にふれてくる。これでいて、熱は出ない。出る場合は、身体の水気がすつかり潤れた時と思つてよい。下痢はあまり見られない。むしろ便秘する場合が多い。

いかにも症状が悪いので、心配であるが、たいてい三日ぐらいで落つてしまう。どんなに長くても一週間くらいのものである。

先づ大体こんな症状の病気であるが、この病気の一般的なことも、こゝで述べておく必要があろう。この病気は二才ごろから始めて七八才までの子供に見られる。十才以後になると殆んど見られない。この年頃の子供は誰

でも起す可能性があるかというのと、そうでもない。起す子と起さない子がある。起す子は一度起すと、繰返しておとししてくる。ひどい時は気候の変り目などに、年に五六回も繰返して、両親を心配させる子もいる。

まことに厄介な病気のようにあるが、一体何が原因で、こんな病気になるのか、これは当然起つてくる問題である。

この病気の原因は細菌ではない。消化器系のいわゆる食当りでもない。原因は、むしろ子供の身体の中に潜む。というのは、この病気は、子供の自律神経の異常、つまり交感神経と副交感神経の緊張のバランスが破れた時にくる病気である。その結果、肝臓の働きが悪くなり、炭水化物の代謝がうまく行かなくなるのだと考えられている。ある時、重症な自家中毒症で、ほとんど血液を吐いて、とうとう死んでしまつた子供があつた。両親の希望もあつて解剖してみたところ、十二指腸の上の方、つまり胃のすぐ先のところ、昔あつた五銭の白銅貨くらいの大きな、おできがあり、粘膜がえぐれて、そこから出血していたことが判つたことがある。どうしてそんな大きなおできができたのか。それは、やはり自律神経の働き方の異常で説明することができるのであるが、ひどいときは、こんな例も

あるというわけである。

直接の原因は、こういうわけであるが、そういう神経のオスハーモニーを起す間接の原因もある。むしろ読者には、その方が大切なこと、思う。間接の原因としては、簡単なこと、過度の疲労、発病前にかく食欲がありすぎた、精神的な束縛やショック、こういうことが誘いになってくることが多い。季節から考えると晩春から初秋の候に多いが、冬でもないわけではない。冬おこすような子は多い。

大体この病気は神経と関係がある病気であるが、家の中の環境が大いに物を言う。先程年に五六回も起して、両親を心配させると書いたが、そうすると、子供だけが悪いように聞える。しかし、こゝで最少しほりさげようと、両親が存外、発病の誘因をなしていることが多い。自家中毒症は主として都會病であり、インテリ病だといわれる。田舎には、あまり見られない。自家中毒症をおこす子供は、とかく神経過敏であるが、実はその親もそうである。神経質でなくても、子供が二三回くりかえして突然血を吐いたり、ぐつたりしてしまつたりしたら、大抵の親は神経質にならざるを得ない。病気が治つても、今度は

警戒する。それ遊び過ぎだ、それこの食物はあぶないと、いちいち干渉が始りやすい。こうして親が干渉すればするほど、子供の方は発病しやすくなる。去年の夏は自家中毒症を二度もやつたから、今年の夏は気をつけようというふうなことから、到れり尽せりの注意が徹底し始めると、子供は皮肉にも自家中毒症をやる。甚しい時は、母親が、「何だか今日は坊やの顔つきが変だよ、また自家中毒症やないの」というようなことを、うつかり口走ると、それが立派な誘因になつて本当に自家中毒症にかゝるような子もいる。こうして親は愈々焦り、子供は、ひとつひとつ親の顔色を伺うようになり、万事が狭いトンネルの中を通つてゆくような消極性を帯びる。

勢い話は、治療或いは予防という点に落つくことになる。治療は医師のやることであるから述べることは差控える。こゝでは病中の看護が問題であらう。

病氣中最も大切なことは、周囲があまり騒ぎたてないようにすることである。医師との問答も別室でする方がよい。母親の落着いた物腰が、こどもの恢復に大きな影響を与える水分は、吐かない限り少量づつ、要求に応じて与えておくこと、薄めた果汁なども制限なしに与えてよい。食物は初めは与えない。吐

気がとまつてから、ぼつぼつ与えるが、恢復は急速であるから、食物のすゝめ方もそれに伴つて、あまりゆつくり進めてゆくようなこととはしない方がよい。下剤は与えない。必要があれば洗腸する。

予防の第一は、消極的なことをするなということである。あまり子供の食事などにやかましくしない方がいゝ、心がけることは、むしろ偏食矯正である。ビタミン類では不足がいけないという人もあるが、特に思ひで考える必要はない。適度な戸外運動、充分な睡眠、正しい食生活、そして日光といふ、空気を主眼にした積極策をとり、間接乍ら身体を全体に強くすることが、結局予防の方策になる。あまり細かい干渉がましいことをしてたえず精神的圧迫を加えることはやめて、何時も楽しい家庭、こどもにとつて信頼できる親であるという安心感を与えてやるのが大切であらう。

× × ×

# 幼 児 の 心 理

— 4 —

お茶の水女子大学教授

波 多 野 完 治



## 第四講

### 自己中心性の諸特徴

フランスの心理学者、教育学者のブルジャード (BOURJADE) はピアジェその他の研究を参照しながら、幼児の「自己中心性」の特性を次のように要約した。

#### (1) 「自分」と「オレ」(わたし)

##### の未分化

ブルジャードは「自分」(MOI)と「オレ」(JE)とを区別している。自分とオレのは、心理的個体の内容をなすものでこれは個々ばらばらな事件がこれを形成している。これに反して「オレ」はそれらの自分が体験する事件の背後にあつてこれをまとめるはたらきをするものでいわば主体的統一的自我といつたらよからうか。又前者をノエマ的自我、後者をノエシマ的自我と呼んだら現象学や実存哲学をやっている人にはかえ

つてわかりやすいかもしれぬ。

要するに幼児には「自分」は出来てきているが、その自分をまとめてこれにしつかりした形をあたえる作用的自我「オレ」というものが出来ていないのである。だから幼児はこの意味では「自分主義」ではあるが「オレ主義」即ち利己主義ではない。幼児はそのような高度の自分偏重をもつところまで行っていないのである。そういう「オレ」がないかぎり幼児は第一に、非常に「暗示」にかかりやすい。いつも「オレ」というものをもつていて、外から与えられる印象をその「オレ」の目がねでこしてみているというような批判力がない。第二に幼児はそのためにもそのときどきで矛盾したことを平気でしたりいつたりする。統一的「オレ」が確立しておらず、そのときどきの「自分」にしたがつて行為するからである。「オレ」の方はいつも同一で又、同一であろうとするが、幼児にはこのような「恒常性」の自分はな

い。

そこで、幼児はそのときどきで、矛盾したことをするのが平気であるばかりでなく、又、うつり気である。自己というものをしつかり保持しておいていろいろのことをするのでないからいろいろなことをおもい出しでも「おもい出される事」即ちノエマの方にひきずられて、自分でかくかくのことを想い出そうという意図的回想は出来ない。断片的にはいろいろなることを実によくおぼえているがかんじんの事(と大人が、実は考えるのだが)を忘れている。又未来を現在の「自分」の連続としてとらえることが出来ない。「オレ」というものがないからである。「大きくなつたら何になるの」「ウンテンチュ」「ウンテン手と現在の自分との間には何の関係もない。自分は三輪車にのるのうまいから、大きくなつたら運転手になるのだ、という風に考えられているのではない。こういう考え方

は現在の「自分」と未来の「自分」との間の連続性を予定しなければならず、即ち「オレ」の知識の確立を前提しなければならぬ。幼児にはそういうことはない。

## (2) 主観と客観との未分化

この「主客未分」ということは今までも幼児心理についてよくいわれたことである。これは自我をもふくめた全ての存在を、全部同じ水平面においていることだ、という風について説明してもよいだろう。総てのものは自我との関連において、いろいろちがつた価値、いろいろちがつた面をあたえられるべきなのであるが幼児の場合にはそうなっていない。自我自体がすでに「物」と同じ面でながめられており、自分の欲望のままに、あるときはあるものが、一番大切なもののようにおもわれる。前にものべたように、幼児の心の中では「物」はすでに「物」としての

恒常性を得ている。物を「絵」とは、幼児はもはやみていない。目をつぶつても「物」はなくなりはない。自分がいなくなつても「物」はなくなるわけではない。だからこの点では「物」は自己からは独立の存在なのであるが、それはいわば「感覚的」運動的」な面についてそうであるにすぎない。感覚の面をはなれて「物の価値」即ち「物の感情性」の方にはいると、物と自己とは未だ神秘的な関係をもっている。だから自分があるくと月がついてくるようにおもつたり自分が手をふるると雨がやむようにおもつたり出来るのである。月は自己から独立の、自己とは無関係の存在ではなく、なんらか自己(幼児)と関係があるもののようにおもわれる、という自己と物との「価値感」があるのである。これを社会学者にならつて「関渉の法則」となすける。小さい子どもがおまじないを真面目にやることができるのはこのためである。

同様に、子どもは物に自己と同じ「意志」「意図」をみとめることが普通である。このように物に「ころ」や「意志」をみとめることをアニミズムというのだが、幼児は主客未分の心性に互るため自分の考えていることはそのまま他物の考えるところだとおもうのであらう。

### (3) 能記と所記 (SIGNIFIANT, T, SINIFIE) との未分化

能記とか所記とかいうのは言語学上の用語である。ソツスユールというスキアの学者がこの区別をはじめた。たとえば太陽というものがある。地球の外にあつて我々に熱や光をおくつてくれるもの。この「物」が所記である。これを「太陽」とよぶと「太陽」という言葉は能記である。

ところで言語学上からいえば、能記と所記との間にはなんの関係もない。太陽とよんでも「サン」(SUN)とよんでも、又「ソレイユ」とよんでも、太陽は七月にはてりつけるし、二月にはあたたかい熱をあたえてくれる。能

記の方は人間のこしらえたものであり、所記の方は人間の存在する前からあるのである。

ところが、幼児はこの二つを混同する。つまり名前が、物の本質又は実体と無関係ではないとおもつていたのである。

人物の画をかく。そうすると、その名前を人物にそえる。

「名前はとうしてわかるのでしよう」ときいてみると、

「考えればわかる」

とこたえる。つまり、人間なり、物なりを考えればわかる、とおもつているのである。ある着物はみればそれが赤だということがわかる。丁度それと同じく、ある人物はみればそれが「太郎」という名前だということがわかるとおもわれているのである。

だから名前は、「おぼえたもの」ではない。自分がお父さんからおそわつたものだ、ということを知らない。

「いつおぼえたの」ときくと

「もうせんからしつてるよ」

という。たぶん子どもは生れたときからしつているとおもつているのであらう。

この位だから、たとえば、月を太陽とよび太陽を月とよぶことなどはできない。そうすれば、月がヒルマであることになつてしまふ。

つまり人がみんな月とよぶから月は月なのであり、もし人がみんな月を今後太陽とよぶことにすれば、同じものがちがつた名前になるのだ、ということ——能記と所記との区別しかわからなないのである。

能記がかわると、これに感じて所記の方もかわつてしまふと考える。

「名前のあるものは存在する。なぜなら、名前があるのだから。名前は物の一性質であり、物と共存的本質をなしているものと考えられている。名前は人が勝手につけたもので、つくつたり変えたり出来るものだ」という考えは、もつとおそくなつてからでなければでてこない。こんな風な名前の実意

論は自己中心性の直接のあらわれである」(ピアジェ)

この名前と同じことが「夢」についてもおこる。夢は人が勝手にみるもので、夢の中にてくる人と、本当の人の間には何の関係もない。しかし子どもは——原始人と同じように——夢の中の人は、本当に夢の間に、夢にてくるのだとおもつているのである。

つまり能記(夢)と所記(本当の实在の人物)との混同がある。

こんな風にシムボルとシムボライズされた当の本体、又は記号と、記号の本体との間に「関渉の関係」をみとめることは、夢や、記号が子どもにおくは非常に感情的につまり印象をあたえられる、という事実からもきていえる。

#### (4) 自我と他我との混同

これが一番つよくあらわれるのは、子どもが、自分のことを他人にすつかりわかつてもらえとおもつていることである。子どもは自分のいいたいことだけをいって、くわしく説明しよう

という努力をしない。ごく小さい子どもは、お母さんが、自分のかゆいところをかいてくれないと、いつてジレおこる。これは母親には説明しなくても自分のいいたいところや、かゆいところがわかるとおもつているからである。

そのため子どもは、他人にインフォメーションをあたえるために、説明したり、解説したりすることをやらぬばかりでなく、又説得の努力もやらぬい、という本態になる。

たとえ「説明」を要求されても、子どもは自分の立場からばかり表明するので「それ」「これ」等の言葉をつかつたり、又は全然主張のない「いつちやつたよ」等のいいかたをする。

更に、その文の間に連絡がうすい。

「でもつて……」

「それから」

「そしたら」

などでつなぎ、はつきりした事件の関係が設定されなく。

#### (5) 個人的自我と普遍的自我の未分化

これはプールジャードがあげた規定であるが、かなり大切なものである。

我々大人は、自分一人が知つていることと、人間全体の立場として、その代表として自分にわかっていることの間已れをおいてい、たとえば自分はクサヤのひものがすきだが、他の人々はあまりこのまないだろうとか、自分はこうこうとおもうが、それは一般の承諾をえていないとか、逆にこれは全ての人が承知するであろう、とかいうように、個人としての立場と、人間的立場とはつきりしている。子どもにはこのような区別がないというのである。

このことからでてくる一番はつきりした事実は「ウソ」である。子どもは自分の一人だけ考えたことを「客観的なこと」つまり普遍的主義の立場で表明してしまふ。それは他の人には当然変にきこえる。そこで、

お茶の水女子  
大学 主催

## 幼稚園教員免許法認定講習會

會 場

お茶の水女子大學附属幼稚園遊戯室

受 講 資 格

幼稚園教員免許狀の所有者

科 目 及 び 講 師

一般教育 人分科学 倫理学 一単位 お茶の水女子大學助教

勝部眞長氏

自六月二十八日(土) 六月二十九日(日) 七月五日(土) 七月十二日(土) 土曜日

午後二時—六時

日曜日 午前九時—十二時

専門科目

保健体育 体育原理 一単位 お茶の水女子大學助教

戸倉ハル氏

自六月二十九日(日) 七月六日(日) 七月十三日(日) 七月十九日(土)

教職科目

教育心理 児童心理 一単位 お茶の水女子大學助教

牛島義友氏

自七月二十一日(月) — 至七月二十五日(金) 毎日午前九時—十二時

教育原理 保育課程 一単位 お茶の水女子大學講師

松村康平氏

自七月二十七日(日) — 至七月三十一日(木) 毎日午前九時—十二時

### 〔注意〕

○一科目毎日実費として式百円申し受けます。

○本講習の事務一切はお茶の水女子大學附属幼稚園内講習会係が致します。

○時間割その他に御不審の点は郵券をそえてお問合せ下さい。



日本幼稚園協会主催 講習會

簡易樂器による遊戯

お茶の水女子大学助教授 戸倉ハル氏

期 日 七月二十一日(月)―七月二十五日(金) 毎日午後一時―四時  
會 費 参百円

〔注意〕

○本講習は単位の修得にはなりません。

○運動に適する服装のこと。

○ハンドカスター一個御特参下さい。

昭和二十七年七月 日

日本幼稚園協会

東京都文京区大塚町三五番地  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

# 官廳公示連絡事項

## モデル幼稚園候補校の指定

昭和二十七年五月二十九日文施指第七三号で昭和二十七年度文部省建築モデルスクール候補校の指定が発表された。このたび指定されたのは申請校一二二校のうち六八校で、その内訳は幼稚園八園小学校二三校中学校二九校高等学校三校盲学校二校ろう学校三校である。

このモデルスクールの指定は昭和二十二年度から行われていたが、幼稚園が指定されたのは今年が始めてであり、しかも公立幼稚園だけが認められたのである。

幼稚園で指定された八園は次のとおりである。

府県名	幼稚園名	所在地	園長名	構造
愛知県	名古屋市第三	名古屋市西区志摩町一	浅野寿美子	木造
岐阜県	岐阜市立加納	岐阜市加納西丸町一	福田 実	〃
兵庫県	神戸市立楠	神戸市兵庫区下三条町五〇	山崎ときの	〃
〃	明石市立播陽	明石市相生町二丁目浜通	内匠ちゑ	鉄筋
大阪府	大阪市立常盤	大阪市阿倍野区天王寺町二、六五二	広岡キミエ	木造
香川県	観音寺町立観音寺	三豊郡観音寺町二、九六一の二	松木ユキノ	〃
徳島県	徳島市立内町	徳島市寺島本町西二丁目	富本善一	〃

北海道 美唄市立美唄 美唄市西二条南三丁目 菅 秀 基 木造  
 なお、この候補校が木造は二年後（昭和二八年三月末日）鉄筋は三年後（昭和二九年三月末日）までに文部省の指導及び助言に従つて完成しその検査に合格したときは「昭和二十七年文部省建築モデルスクール」として指定されるのである。

## 幼稚園基準について

昭和二十七年五月二十一日文初初第一〇八号で文部事務次官通達をもつて別紙のように幼稚園基準について各都道府県教育委員会、都道府県知事五大市教育委員会合都道府県知事、五大市教育委員会及び附属幼稚園を置く国立大学長あてだされたが、この基準は幼稚園の設置や既に設置された幼稚園の充実を図るための資料として通達されたものである。

しかし、各都道府県や幼稚園においては、この基準の趣旨にそつてその最低基準の維持を図ることはもとより、あらゆる機会において望ましい基準に達するように、またこれらの基準をこえるように努力することが望ましいのである。

文初初第一〇八号

昭和二十七年五月二十一日

都道府県教育委員会  
 都道府県 知 事 殿  
 五大市 教育委員会

幼稚園基準について

幼稚園教育の振興につきましては、格別御配慮のことと思ひますが、文部省におきましても、かねてから幼稚園教育の水準維持とその向上を図るため、幼稚園の教育課程・編制・施設・設備等の基準に関し委員会を設け、種々研究を重ねてきました。その結果別紙のようにまとまりましたので、貴管下における幼稚園教育の充実発展を図るための参考となることが多いと思ひますので送付いたしますから、地方の実情に應じ十分御活用の程願ひます。

文初第一〇八号

昭和二十七年五月二十一日

附属幼稚園を置く国立大学長殿

文部事務次官 日高 第四郎

幼稚園基準について

このことにつき、別紙のように各都道府県教育委員会都道府県知事及び五大市教育委員会に通達いたしましたので参考のため送付いたします。

幼稚園の園舎、運動場の面積の基準

- 1 幼稚園の園舎及び運動場の面積は、幼児一人につき、それぞれ二・三平方米及び三・〇平方米を下らないものとする。
- 2 幼稚園の園舎及び運動場の面積に、幼児一人につき、それぞれ四・七平方米及び五平方米に達することが望ましい。

- 3 幼稚園の園舎及び運動場の面積は、一幼稚園につき、それぞれ百平方米及び百七十平方米を下らないものとする。  
備えなければならぬ施設設備

- 1 幼稚園には左の施設設備を備えるものとする。
  - 一、保育室
  - 二、遊戯室
  - 三、保健室
  - 四、職員室
  - 五、便所、水呑用設備、手洗用設備、足洗用設備
- 2 保育室の数は、その幼稚園の組数を下らないものとする。
- 3 保育室と遊戯室及び保健室と職員室は、それぞれ兼用することができぬ。
- 4 便器の数は、幼児六〇人までは、二〇人について大便器及び小便器各一個、六〇人をこえる場合は、三〇人を増すごとに大便器及び小便器各一個を加えるものとする。
- 5 水呑用設備は、手洗用設備又は足洗用設備と区別して備えるものとする。
- 6 幼稚園には、必要な給排水設備を備えるものとする。
- 7 幼稚園には、防火及び消火に必要な設備を備えるものとする。  
備えなければならぬ園具、教具等
- 1 幼稚園には、机、腰掛、黒板、ピアノ又はオルガン、簡易楽器、蓄音機及びレコード、積木、玩具、紙芝居、絵本その他の図書、すべり台、ぶらんこ、砂遊場、飼育栽培用具、絵画製作用具、保健衛生用具の園具、教具を備えるものとする。

- 2 前項の園具、教具の種類及び数は、園舎の規模及び幼児数に  
応じて備えるものとする。

備えることが望ましい施設設備

幼稚園には、左の施設設備を備えることが望ましい。

- 一、放送聴取設備
- 二、映写設備
- 三、身体を清潔にする設備

## 一、教育課程について

### 教育課程

幼稚園の教育課程は、文部省の編集に係る幼稚園教育要領を基準とする。

### 教育日時数

- 1 幼稚園の教育日数は、毎学年二百日以上とする。
- 2 一日の教育時数は、四時間を原則とする。

## 二、編制について

### 一組の幼児数

幼稚園の一組の幼児数は、四十人以下を原則とする。

### 一組の編制

幼稚園の一組は、同じ年令の幼児で編制することを原則とする。

但し、特別の事由があるときは、異なる年令の幼児で編制することができ。

### 専任教諭の数

- 1 幼稚園においては、園長の外、各組毎に専任の教諭一人以上

を置くものとする。

但し、特別の事由があるときは、助教諭をもつて教諭に代えることができる。

- 2 専任の園長を置かない幼稚園にあつては、前項の教諭の数の外、さらに一人を増すものとする。

### 養護教諭と事務職員

幼稚園には、養護教諭と事務職員とを置くことが望ましい。

### 幼稚園医と幼稚園歯科醫

幼稚園には、幼稚園医と幼稚園歯科医とを置くものとする。

## 三、施設設備について

### 幼稚園の位置、施設設備等の一般的基準

- 1 幼稚園の位置は、幼児の道徳教育上、保健衛生上の害がなくかつ、通園の際の交通上の安全をも考慮して、これを定めるものとする。

- 2 幼稚園の施設設備、園具、教具等は、安全かつ美的で、教育上適切なものとする。

- 3 飲料水の水质は、衛生上無害であるものとする。

### 幼稚園の敷地、運動場、園舎の一般的基準

- 1 幼稚園の園舎の敷地と運動場とは、一団の土地にあることを原則とする。

- 2 幼稚園の園舎は、構造上堅ろうで、幼児の指導上及び保健衛生上並びに幼稚園の運営上適切なものであり、かつ、園舎のうち、幼児の常用に供する部分は、第一階におくことを原則とする。

#### 四、水遊場

#### 五、図書室

#### 六、給食施設

#### 他の施設の使用

- 1 備えなければならない施設設備については、他の学校又は学校以外の施設の施設設備の一部を使用することができる。
- 2 他の学校又は学校以外の施設の施設設備の一部を使用するときは、幼稚園の教育上支障のないよう、適当な設備を備えるものとする。

**備考** 教育課程中「幼稚園教育要領」とあるは、幼稚園教育要領が刊行されるまで、「保育要領」をもつてこれにかえるものとする。

## 会から

○夏が来れば、暑い暑いとばかりい、冬になれば、寒い寒いとばかりい、なぜ、こう不平ばかりいうのでしょうか。一年三百六十五日、四季の変化があるのが、日本を美しくする所以だと、一方では言っておきながら、そのうえ雪月花と春秋冬の歌は忘れなくせに、夏だけには水とか風とか、夏なればこそ涼しかりけれといった反語的の歌ばかりで、その吹く風、水の流れだけをせめても風流として、夏の暑さそのものには、何んの礼讃も与えないのは、夏季に対して少し気の毒じやありませんまいか。

○なるほど、日やけをいとわせられるミスシヤン先生には、木かげの少ない七月の園庭が、また、薄物の襟のくづれを気になさる夏やせ先生には、午さがりの遊戯室が、決しておらくでないことはお察しできますけれども、そこで元氣にかけ廻っている汗だらけのマツクロ幼児には暑さはそんなに苦にならないのです。それどころか、灼けている砂場の砂も、煮えている水遊び場の

日向水も、印度の幼稚園を思わせる潑刺たる半はだかの楽しい世界なのです。町の幼稚園では、どこからかまぎれこんで来た一匹のヤンマを、総員総出で大歓迎をします。村の保育所では、後庭の椎の木にしがみついている一匹の蟬に、高嶺の賓客としての歓呼の声を送ります。先生に、きれいでしようといわれて、ポールドの貧弱な紅梅の絵に鑑賞を強要せられる春や、黄色い色紙をまるく切つて、先生がさつき背のびをして壁にピンでとめて下さつたお月さまの前で、今夜出るお月さまは明るいのねえと歌わされる秋よりも、どんなにか生き生きしている保育でしょう。ねむそうな声でおひるねなさいよと言われても、なか／＼承知しないほど、夏の幼児は活気に溢れています。その実状が、春の花、秋の月、冬の雪とならべて、一つ先生方の実感句にならないものでしょうか。

○そういう幼児達の前で、せめて暑さに屈托した顔を見せませんまい。けさからうんざりしているような緊張を出しますまい。その代り幼児たちが皆帰つて行つた後では、

更衣室で汗をおぬぐいになるのも結構です。オードロンをお使いになるのも結構です。保育の汗の香をそのまま、で電車の中にお乗り込まれるのも先生を誇る所以でもありますすまいから。

○夏季講習会の時が来ました。本協会においても、例年の如く保育講習会を開催します。(本誌本号広告通り) 諸君の多数参加せられることをお待ちします。

### 幼児の教育

第三巻 第八号

定価 金五拾円

昭和二十七年八月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋 惣三  
発行者

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田神保町二ノ四

発売所 株式会社 フレーベル館

振替東京一九六四〇番

○本誌御購請について注文申込その他はすべて発費所フレイベル館に願います。

お茶の水女子大学附属幼稚園試案

# 幼児指導要録記入の手引

A5判五二頁定價三五円 千八円

幼児指導要録の記入もいよいよ昭和二十六年年度から始められることになりました。各園それぞれの立場に於て御研究がなされていることと思われます。ここにお茶の水女子大学附属幼稚園の試案として「幼児指導要録記入の手引」が出されました。幼児の生活の実際と評価の尺度について客観的な正しい観察の手引として一つの指針となるものであります。幼稚園の諸先生の学年末の記入に際して役立つものと信ぜられます。

及川ふみ先生案

## たのしいおしごと

本誌十二月号に及川先生がお書き下さいましたよなを全く新しい企画による特製手技材料です。

B5判一六枚定價四五円 千八円

東京都千代田区神田神保町二ノ四

發行所

株式会社

フレールベル館

振替東京 一九六四〇番

厚生省児童局編

# 待望の 保育指針 出づ!!

A5型 153頁 定價 130円 送料 30円

(お申込は振替又は小為替利用が便利です)

保育するということは安易なようで、なかなかむづかしい。こん度保育所のみならず、他の児童福祉施設における保育の為に保育計画の立て方保育児童の問題など、児童福祉施設一般にわたる保育の専門事項を取り纏め、こゝに「保育指針」として上梓するようになった。本書の活用如何はかかつて保育に携る者の手腕と技術にまつべきであろうと思う。

厚生省児童局長 高田正巳序

【 内 容 の 一 部 】	保育の目標と原理…吉見 静江	道徳の育成…キユツクリツヒ
	生活の環境と調整…高島 巖	保育計画と自発性…副島 ハマ
	身体機能の発達…斎藤 文雄	保育計画とは何か…珠川 善子
	精神の発達…牛島 義友	1-2才幼児の保育…鈴木 とく
	生活指導…堀 要	乳児院に於ける保育…星野 きく代
	遊びの指導…竹田 俊雄	看護施設に於ける保育…高島 巖
	能力の育成…副島 ハマ	保育の実際問題…堀 要

東京都千代田区  
神田司町一の一

財団法人 日本児童協會

振替東京  
一九五三二九番

9 月 号 予 告

観  
察

# キンダーブック

繪  
本

## KINDER-BOOK

第 7 集

【ス ポ ー ツ】

第 編



☆お子さまの健やかな魂の御成育に  
なくてはならぬ日本一の立派な絵本☆

A 4 判・16 頁・月一回発行  
解 説 付  
定 価 45 円・送料 8 円

### 「スポーツ」

秋晴やかなスポーツシーズンには、天下の幼児達にもひろがるといつていゝでしょう。又キンダースポーツといゝながら、可愛い、全身全心に、こんなに強い力を漲らせるものはありません。御覽なさい。あの張り切った顔を、あの熱狂する応援の叫びを——この巻中にある運動会、ポートレース、競馬、水泳（ダイビング）マラソン。どれ一つ、幼児を喜び勇みた、せないものはないでしょう

発 行 所

東京都千代田区神田  
神保町二丁目四番地

株 式 会 社

フ レ ー ベ ル 館

東京座口座  
一六四〇番  
振替